

はじめに

愛知県立大学 情報科学部 学部長 半田暢彦 教授

愛知県立大学では、来るべき21世紀の高度情報化社会に対応するため「情報化への対応」をキーワードの一つとして大学改革の道を求めてきました。また、工業活動に関する世界規模での趨勢の変化は、世界有数の工業出荷額を誇る愛知県をも飲み込み、従来型の物作り産業から知識集約型産業への構造転換を強く求めています。このような状況にあって、愛知県立大学では、愛知県との連携の下に組織の改組拡充、狭い大学キャンパスからの解放、移転などについて永年検討してきました。特に、改組拡充の主要課題の一つとして21世紀の高度情報化社会に対応するため、情報科学部を創設することとし、愛知県を通して文部省に申請してきましたところ、情報システム学科、地域情報科学科の2学科構成により、平成10年4月から発足するよう認可を得ました。

本学部では、一般教育科目とともに、専門科目として両学科共通の共通基礎科目、各学科に特有の基幹科目、それを発展させた展開科目、関連科目からなり、何れも日々進歩する情報技術の構築、運用に資する情報システム技術者の養成を目指しています。また、これを支える活発な研究活動の推進を図っています。情報システム学科では、情報システム技術、マルチメディア技術に焦点を当てて教育研究を行っています。特に、情報システム技術分野では、計算機工学、ソフトウェア工学、システム工学、知識情報処理などについての教育研究を行い、またマルチメディア技術分野では、音声情報処理、パターン認識、視覚情報処理、画像処理などの教育研究を行っています。地域情報科学科では、ネットワーク技術、シミュレーション技術に力点を置き、教育研究に当たっています。ネットワーク技術分野では、地域情報ネットワーク、情報セキュリティ、符号化とデータベース、デジタル通信などの研究を行い、またシミュレーション技術分野では可視化技術、コンピュータグラフィックス、自然環境シミュレーション、モデリングなどの教育研究を行っています。本学部では、これらの研究を通して、地域情報化時代の未来を拓く情報システム技術、マルチメディア技術、情報ネットワーク技術およびシミュレーション技術を構築、運用することの出来る情報処理技術者の養成するとともに、これら技術に関する高度な開発研究を実現していきたいと思っています。

本情報科学部は、一学年の入学定員が80名です。また、一般選抜、推薦入学、社会人入学、帰国子女・中国引揚者・外国人留学生特別選抜および3年次編入学などの多様化した方法で選抜し、入学者の多様性を図っています。これらの学生に、32名の教授、助教授および助手を配置して教育研究活動を行っているところです。特に、平成14年度からは大学院情報科学研究科修士課程を設置し、情報科学、情報工学に関するより高度な教育研究の実現に向けて準備中です。

創刊して2号目に当たる本年報は、平成11年度における本情報科学部教員によるの研究成果と本情報科学部の活動状況を纏めたものです。大学教育に於いても試行錯誤が多く、また極めて限定された予算、人手、時間の中で教育研究活動を行ってきましたが、1年半後には大学院研究科の開設に向けてクリアすべきハードルも待っているという状況でもあります。このような状況に際して、関係各位から、私どもの教育研究成果に対する忌憚のないご批判、ご鞭撻を頂ければ幸いです。

平成11年12月28日

1 この一年間

—情報科学部 1999 年のできごと—

平成 11 年度の情報科学部入学試験結果

学科	募集人数	試験区分	志願者	受験者	合格者	手続き者	入学者	倍率
情報システム	40	総数	145	112	50	45	44	3.6
		前期	83	78	39	36	35	
		後期	51	23	8	6	6	
		推薦	9	9	2	2	2	
		社会人	0	0	0	0	0	
		帰国／中国／留学生	0/1/0/	0/1/0/	0/0/0	0/0/0	0/0/0	
		社会人2次	1	1	1	1	1	
地域情報科学	30	総数	146	117	41	39	39	4.9
		前期	91	88	32	30	30	
		後期	52	26	8	8	8	
		推薦	1	1	0	0	0	
		社会人	0	0	0	0	0	
		帰国・中国・留学生	0/0/0/	0/0/0/	0/0/0	0/0/0	0/0/0	
		社会人2次	2	2	1	1	1	

本年度の入学試験結果を上表に示す。昨年度の変則的入試では両科あわせて 1640 名の志願者があったが本年度入試は全国入試日程にあわせて実施されたため、291 名の志願者に留まった。来年度以降も本年度と同様な状態で推移すると考えられる。

4月 8日 入学式・新入生オリエンテーション
 情報システム学科 44名(内1名社会人)
 地域情報科学科 39名(内1名社会人)

情報科学部は本年度新たに4人のスタッフを迎え、総員32人のスタッフ体制が整った。4月8日に入学式が行われ、昨年度より若干多い情報システム学科44名、地域情報科学科39名(内2名社会人)の学生を迎えることとなった。

4月 9日 新入生オリエンテーション・在学生ガイダンス
 新入生・スタッフ交歓会(於 愛知青少年公園)

入学式翌日、2年生のガイダンスを開くとともに、新入生の学部説明会を実施した。同日夕刻からは愛知青少年公園の宿泊施設を借りて泊まり込みで新入生と教員スタッフの交歓会が催された。教員側からは大学における研究事例の紹介を含めた自己紹介、学生側からは出身地や趣味などの自己紹介がなされ、和やかなうちにお互いの親睦を深めあう良い機会となった。

5月19日 ソフトボール大会

1年生、2年生の間、学生と教員との親睦を図るためにソフトボール大会を行い、その後ささやかなパーティーを行うレクリエーションを企画した。生憎当日の午後は雨天のために予定通りに運動場でソフトボールを行うことはできなくなったため、ソフトボールの後の親睦パーティーのみを行った。学生と教員が情報科学部棟1階のロビーに集まり、チップと飲み物を口にしてしばしお互いに語りあうよい機会となった。雨天に柔軟に対応できるような企画の立案という今後への課題も残った。

5月27日 計測自動制御学会 離散事象システム研究会
 5月28日 電子情報通信学会 コンカレント工学研究会

学術文化交流センターにおいて、2つの学会の研究会が「離散事象システム理論と応用および一般」というテーマで連続開催された。学生を含め学内外から連日80名程度の参加があり、活発な議論が行われた。

6月17日 編入学推薦入試面接試験
 受験者；情報システム2名(合格者2名)

6月22日	工業高校校長会
6月30日	高校校長会
7月9日	編入学一般入試筆記試験 受験者；情報システム10名(合格者7名), 地域情報科学科2名(合格者1名)
7月10日	公開講座
24日	公開講座

テーマ：「21世紀の愛知」未来派！サイエンス教室

- 第1時限目 地球「Earth」 ～地球の震えをキャッチする～
畑雅恭教授、田学軍助手
- 第2時限目 身体「Body」 ～どうしてモノが見えるのか～
神山齊己助教授、小濱剛助手
- 第3時限目 情報「Software」～身の回りのソフトウェア(2000年問題って何?)～
山本晋一郎助教授、鈴木賢治助手
- 第4時限目 通信「Communication」～ネットワークでコミュニケーション
(インターネットで変わる学校)～
小栗宏次教授

今世紀私たち人類は、コンピュータの発展とともにめざましい科学の発展をもたらした。今後ますます発展すると予想される情報科学は、さまざまな科学分野の扉を新たに開こうとしている、こうした新時代の到来を受け、コンピュータに関心を持つ子供から大人までの幅広い世代を対象に公開講座を開催した。テーマは昨年からのシリーズで「21世紀の愛知」とし、サブテーマとして“未来派！サイエンス教室”とした。

講座の内容は、新時代の到来を予感させる4つの話題を用意し2回に分けて実施した。また、本学は地域に開かれた21世紀の大学として公開講座のあるべき姿を模索しており、その一環として平成9年度より情報通信技術を駆使した遠隔学習支援システムを応用した公開講座の実施をすすめている。本年度は、ISDN(384Kbps)回線を利用した音声・動画像配信による多地点接続マルチメディア・リアルタイム公開講座の実施となった。県内の山間僻地の小中学校4校が多地点接続の協力校として参加、児童生徒ならびに父兄が遠隔地から公開講座に参加し、全国ではじめての大学を交えた地域内教育機関連携の公開講座実施となり、地元メディアにより報道されるなど高い評価を得た。

7月31日	大学説明会
8月2日	大学説明会(豊橋市)
8月3日	大学説明会

平成12年度入学試験に向けての大学説明会が3回行われ延べ1949人の参加があった。大学キャンパスでの説明会では情報科学部の説明を情報科学部棟1Fの会議室で、施設の公開としてコンピュータ演習室の公開を行った。また在学生による受験生への説明を情報科学部の学生1人が行った。

8月 インターンシップに情報科学部の学生3名参加

昨年に引き続き、本年度も中部通商産業局主催の東海地域インターンシップ事業に参加した。5月に本学部の学生に対して説明を行い、参加希望者を募ったところ、情報システム学科では1年生3名、2年生2名、地域情報科学科では1年生1名、2年生4名の参加希望があった。6月に受け入れ企業との調整を行った結果、最終的にインターンシップに参加した学生は情報システム学科の1年生2名(共に(株)ナガラ)、2年生1名(三菱電機情報ネットワーク(株))の合計3名となった。学生は8月末から9月にかけて受け入れ先の企業において2～3週間の研修を行った。インターンシップを受け入れる企業ではほとんどが3年生以上の学生を希望しており、今後は3年生を中心に実施するのが良いと思われる。また、受け入れ先企業の中の一社は本学部教員の紹介による企業であり、今後も引き続き受け入れ先企業の開拓が必要であろう。

- 11月21日 推薦入試筆記試験（1次試験）
 受験者；情報システム6名，地域情報科学科2名
 社会人特別選抜入試筆記試験（1次試験）
 受験者；地域情報科学科1名
 編入学一般入試2次筆記試験
 受験者；情報システム3名（合格者1名），地域情報科学科4名（合格者2名）
- 12月 5日 推薦入試面接試験
 受験者；情報システム6名（合格者2名），地域情報科学科2名（合格者2名）
 社会人特別選抜入試面接試験
 受験者；地域情報科学科1名（合格者1名）

本年は下記のような学術講演会を開催した．

- 1月20日 (財)科学技術交流財団メディアフォーラム
 3月27日～31日 1999年度日本海洋学会春季大会
 9月29日～10月1日 1999年度日本地球化学会年会
 11月17日 愛知県立大学情報科学部学術講演会（電子情報通信学会東海支部共催）

また，先述した研究会以外に，下記のような研究会を実施した．

- 1月28日 第4回地域環境GIS研究会
 6月11日 第5回地域環境GIS研究会
 7月 8日 愛知県産業利用インターネット研究会
 11月 7日 情報処理学会モバイルコンピューティング研究会&高度道路交通システム研究グループ
 11月17日 第6回地域環境GIS研究会
 12月 9日～10日 工学・理学における不規則変動現象の数理的解析理論と応用 研究会

本情報科学部では，将来は博士課程大学院をもつ学部として，教育、研究で地域，社会へのより大きな貢献をすべく将来計画委員会を昨年度設置し，大学院および将来への構想に関する討議を行い大学院設置への準備を精力的に進めている．

2 組織と運営

2.1 教員一覧

情報システム学科

氏名	担当授業	部屋番号	内線電話	E-mail アドレス
小栗宏次	数値解析法, メディア情報システム論, メディアプレゼンテーション論, 情報科学概論**, 情報科学 **	C501	3501	oguri@ist.aichi-pu.ac.jp
櫻井桂一	プログラミング, プログラミング	C508	3508	sakurai@ist.aichi-pu.ac.jp
辻孝吉	情報数学, 情報数学	C505	3505	tsuji@ist.aichi-pu.ac.jp
成瀬正	計算機システム概論, 論理数学, コンピュータアーキテクチャ, 情報システム実験	C504	3504	naruse@ist.aichi-pu.ac.jp
堀場勇夫	電子回路, 情報システム学概論, 情報システム実験, デジタル信号処理論, 情報科学実験, 情報可視化技術, デジタル回路	C512	3512	horiba@ist.aichi-pu.ac.jp
渡邊教博	情報システム学概論, システム制御論, ニューロ情報処理論	C401	3401	watanabe@ist.aichi-pu.ac.jp
神山斉己	コンピュータリテラシ, 情報システム実験, 視覚情報処理論, 情報科学実験	C304	3304	kamiyama@ist.aichi-pu.ac.jp
永井昌寛	情報システム設計論, 情報システム評価論, 情報科学 **	C413	3413	nagai@ist.aichi-pu.ac.jp
丸田辰哉	代数学, 代数学, 幾何学, 幾何学, 現代数学入門*, 数学**	C515	3515	maruta@ist.aichi-pu.ac.jp
村上和人	画像処理論, 情報システム実験, パターン認識論, コンピュータビジョン, 情報科学実験, 情報科学 **	C409	3409	murakami@ist.aichi-pu.ac.jp
山村毅	言語処理系論, 情報システム実験, 知識情報処理論, 自然言語処理論, 情報科学 **	C405	3405	yamamura@ist.aichi-pu.ac.jp
山本晋一郎	計算機言語論, ソフトウェア設計論, 情報システム実験, 情報科学実験, 情報科学 **	C408	3408	yamamoto@ist.aichi-pu.ac.jp
大久保弘崇	情報システム実験, 情報科学実験	C214	3214	ohkubo@ist.aichi-pu.ac.jp
粕谷英人	情報システム実験, 情報科学実験	C213	3213	kasuya@ist.aichi-pu.ac.jp
田学軍	情報システム実験, 情報科学実験	C213	3213	tan@ist.aichi-pu.ac.jp

本学部専門教育科目, *一般教育科目, **他学部科目

地域情報科学科

氏名	担当授業	部屋番号	内線電話	E-mail アドレス
井手口哲夫	コンピュータネットワーク論, ネットワークソフトウェア, ネットワーク管理, 情報科学 **	C209	3209	ideguchi@ist.aichi-pu.ac.jp
今里哲久	環境シミュレーション	C313	3313	imasato@ist.aichi-pu.ac.jp
田浦俊明	環境機器分析, 自然環境基礎論, 教養演習*, 分子の科学**	C305	3305	taura@ist.aichi-pu.ac.jp
畑雅恭	情報理論, 符号理論, 情報科学実験, ネットワーク構成論	C315	3315	hata@ist.aichi-pu.ac.jp
半田暢彦	地球環境科学概論, 地球物質循環論	C211	3211	handa@ist.aichi-pu.ac.jp
安川博	通信理論, 情報科学実験, 情報科学実験, デジタル通信	C416	3416	yasukawa@ist.aichi-pu.ac.jp
横田幸雄	地球環境科学概論, 自然環境基礎論, 生命の科学*, 教養演習*	C308	3308	yokota@ist.aichi-pu.ac.jp
足立整治	プログラミング, プログラミング, 情報科学実験, シミュレーション論	C411	3411	adachi@ist.aichi-pu.ac.jp
太田淳	グラフ理論, 情報科学 **, 情報科学 **	C509	3509	ohta@ist.aichi-pu.ac.jp
奥田隆史	情報科学実験, 通信ネットワーク, ネットワーク最適化, 情報科学 **	C404	3404	okuda@ist.aichi-pu.ac.jp
何立風	アルゴリズムとデータ構造, アルゴリズムとデータ構造, データベース論, 情報科学 **	C311	3311	helifeng@ist.aichi-pu.ac.jp
Si Si	解析学, 解析学, 確率・統計, 確率・統計, 統計学基礎*	C514	3514	sisisi@ist.aichi-pu.ac.jp
鈴木康弘	地域環境科学, 地域環境解析, 教養演習*, 地球の科学*, 地学**, 自然地理学**	C302	3302	y-suzuki@ist.aichi-pu.ac.jp
戸田尚宏	シミュレーション論, シミュレーション論, 情報科学実験, 生体情報処理論, 情報科学 **	C309	3309	toda@ist.aichi-pu.ac.jp
小濱剛	情報システム実験 . . . 情報科学実験 . . .	C212	3212	kohama@ist.aichi-pu.ac.jp
木村圭司	情報システム実験 . . ., 情報科学実験 . . ., 地学*, 自然地理学**	C212	3212	kimura@ist.aichi-pu.ac.jp
鈴木賢治	情報システム実験 . . . 情報科学実験 . . .	C214	3214	k-suzuki@ist.aichi-pu.ac.jp

本学部専門教育科目, *一般教育科目, **他学部科目

2.2 非常勤講師一覧

氏名	担当科目	所属
酒井正彦	プログラミング	名古屋大学大学院 工学研究科
高橋友一	マルチメディア情報処理論	中部大学 経営情報学部
山田博	情報システム学概論	前 中京大学 情報科学部
横山隆三	計測技術	岩手大学 工学部
渡邊敏正	グラフ理論	広島大学 工学部

平成12年度以降着任予定の非常勤講師

氏名	担当科目	所属
岡林繁	ヒューマンインタフェース論	名城大学 都市情報学部
勝野裕文	データベース設計論	NTT CS 基礎研究所
瀬野裕美	生態系ダイナミクス論	奈良女子大学大学院 理学研究科
武田一哉	音声情報処理論	名古屋大学大学院 工学研究科
福田晃	オペレーティングシステム論	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
福山薫	大気ダイナミクス	三重大学大学院 生物資源科学研究科
本多嘉明	リモートセンシング	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター
松田政行	情報社会の法と倫理	マックス法律事務所
山口高平	エキスパートシステム論	静岡大学 情報学部
山本勝	地域情報ネットワーク	名古屋工業大学 生産システム工学科
横井茂樹	コンピュータグラフィックス	名古屋大学 情報文化学部
寄藤昂	空間情報システム	中京女子大学 人文学部

2.3 事務職員一覧

氏名	職名
山室香	事務長
八田昌彦	主査
西川愛	主事

2.4 平成11年度委員会名簿

全学委員会等

委員会名		委員名			
評議会	評議員	半田暢彦	櫻井桂一	畑雅恭	
	第1委員会(総務)	半田暢彦	辻孝吉		
	第2委員会(予算)	半田暢彦	安川博		
	学長特別教員研究費選考委員会				
	学外研究専門委員会				
	第3委員会(企画)	半田暢彦	成瀬正		
	第4委員会(施設)	丸田辰哉			
第5委員会(広報)	太田淳				
部館局長会		半田暢彦			
学生部	入学者選抜委員会	半田暢彦	堀場勇夫	足立整治	
	学生生活委員会	山村毅	田浦俊明		
	留学生部会				
	学生相談室(相談員)	山本晋一郎	奥田隆史		
	就職委員会	井手口哲夫	永井昌寛		
教務部	教務連絡協議会	堀場勇夫	安川博		
	一般教育運営委員会	田浦俊明			
	教養科目専門部会	丸田辰哉	鈴木康弘		
	情報科目専門部会	何立風			
	外国語科目専門部会	今里哲久			
	免許・資格委員会	横田幸雄			
	教職課程専門部会				
	司書教諭課程専門部会				
	学芸員課程専門部会				
	社会福祉士・保母課程専門部会				
	日本語教員課程専門部会				
	教務等データ保護委員会	戸田尚宏	山本晋一郎		
	視聴覚教育運営委員会	神山斉己	戸田尚宏		
図書館運営委員会	横田幸雄	丸田辰哉	何立風		
学術文化交流センター運営委員会	半田暢彦	渡邊教博			
公開講座部会	太田淳				
国際交流部会	奥田隆史				
情報処理教育センター協議会	半田暢彦				
情報処理教育センター運営委員会	小栗宏次	辻孝吉	神山斉己		
入試結果に関する情報公開検討委員会	横田幸雄	村上和人			
帰国子女等の受験資格認定委員会	堀場勇夫	村上和人			
編入試験での専門学校卒業生受験資格検討委員会	堀場勇夫	足立整治			
情報ネットワーク専門家会議	櫻井桂一	神山斉己	粕谷英人	大久保弘崇	

学部委員会等

委員会名	委員名				
人事委員会	◎半田暢彦	堀場勇夫	安川博	櫻井桂一	田浦俊明
予算委員会	◎櫻井桂一	半田暢彦	堀場勇夫	安川博	田浦俊明
教務委員会	◎堀場勇夫	安川博	辻孝吉	SI SI	
学生生活委員会	◎田浦俊明	山村毅			
図書委員会	◎横田幸雄	太田淳	何立風	奥田隆史	丸田辰哉
整備委員会	◎山本晋一郎	井手口哲夫	太田淳		
学外研究委員会	◎畑雅恭	山村毅	鈴木康弘		
入学者選抜委員会	◎堀場勇夫	半田暢彦	安川博	村上和人	足立整治
一般教育運営委員会	◎田浦俊明	丸田辰哉	SI SI		
主任会	◎半田暢彦	櫻井桂一	畑雅恭	堀場勇夫	安川博
実験運営委員会	◎堀場勇夫	実験担当			
共通機器運営委員会	◎成瀬正	小栗宏次	奥田隆史	鈴木康弘	村上和人
		神山斉己			
将来計画委員会	◎半田暢彦	教員全員			
将来計画委員会作業委員会	◎半田暢彦	櫻井桂一	成瀬正	渡邊教博	辻孝吉
		堀場勇夫	安川博	鈴木康弘	山村毅
		小栗宏次	畑雅恭	井手口哲夫	今里哲久
		山本晋太郎			
情報施設管理運営委員会	◎成瀬正	櫻井桂一	足立整治	神山斉己	奥田隆史
		粕谷英人	大久保弘崇	田学軍	小濱剛
		鈴木賢治	木村圭司		
情報システム・科学実験1	◎堀場勇夫	田学軍	鈴木賢治	小濱剛	
情報システム・科学実験2	◎山村毅	粕谷英人	大久保弘崇	木村圭司	
情報システム実験3	◎成瀬正	大久保弘崇	粕谷英人	鈴木賢治	
情報科学実験3	◎安川博	小濱剛	田学軍	田学軍	
専門教育システム管理	◎成瀬正	小濱剛	田学軍		
研究システム管理	◎成瀬正	粕谷英人	鈴木賢治	大久保弘崇	
年報作成担当者	◎渡邊教博	足立整治	永井昌寛	太田淳	
社会人募集担当者	◎渡邊教博	奥田隆史	何立風	戸田尚宏	
インターンシップ受入企業開拓委員会	◎畑雅恭	渡邊教博	堀場勇夫		
H11年度公開講座企画委員会委員	◎小栗宏次	太田淳	畑雅恭	神山斉己	小濱剛
		田学軍	鈴木賢治		
H11年度公開講座実施委員会委員	◎成瀬正	渡邊教博	山村毅	村上和人	大久保弘崇
		粕谷英人	木村圭司		
学外公開ホームページ部局責任者及び学部委員	半田暢彦(部局責任者)				
	◎小栗宏次	櫻井桂一	奥田隆史	大久保弘崇	
	◎太田淳	粕谷英人	小濱剛	鈴木賢治	
外部資金審査委員会	◎畑雅恭	堀場勇夫	奥田隆史	山本晋太郎	足立整治
教育評価委員会	◎渡邊教博	横田幸雄	山村毅	神山斉己	村上和人

◎印 委員長

その他担当等

担当名	委員名	
1年次生学年担任(学科主任兼務)	堀場勇夫	安川博
2年次生学年担任	渡邊教博	横田幸雄
3年次生学年担任		
4年次生学年担任		
情報教育経費管理責任者	村上和人	
コンピュータ演習室1管理責任者		
コンピュータ演習室2管理責任者		
コンピュータ演習室3管理責任者		
コンピュータ演習室4管理責任者	足立整治	
コンピュータ演習室5管理責任者	神山斉己	
コンピュータ演習室6管理責任者	奥田隆史	
情報科学共用実験室		
資料作成室・工作室管理責任者	横田幸雄	
ハードウェア実習室管理責任者	山本晋一郎	
実験室1管理責任者		
実験室2管理責任者	成瀬正	
実験室3管理責任者	安川博	
実験室4管理責任者	堀場勇夫	
情報システム学科共同研究室	山本晋一郎	
地域情報科学科共同研究室	何立風	

2.5 教授会

議題 (1999年1月～12月)

	開催日	議題
平成 10年度 第10回	1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度愛知県立大学情報科学部科目等履修生募集要項(案)について ・平成11年度非常勤講師の委嘱について ・平成12年度編入学試験実施案について ・拡大教務委員会の開催について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・2月の教授会について ・年報の進捗状況について ・11年度予算について ・11年度和雑誌について ・社会人募集について ・情報処理学会について ・学部長より1月8日に国連大学で開催されたシンポジウムに出席した
臨時	1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度帰国子女等・中国引揚者等子女・外国人留学生特別選抜第1次選考合格判定について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度のSAについて
第11回	2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度中国引揚者等子女特別選抜第2次選考合格判定について ・愛知県立大学学則の一部改正について ・愛知県立大学学位規程(案)について ・演習室利用内規の一部改正について ・アカウントの発行および削除に関する内規(案)について ・愛知県立大学情報科学部修得単位の認定に関する規程の一部改正について ・平成11年度一般教育科目の非常勤講師の委嘱について ・平成10年度学外研究について ・並列計算機機種選定委員会の設置について ・教育評価委員会の設置について ・外部資金審査委員会の設置について ・平成11年度各種委員会委員の選出について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・情報科学部一般選抜後期試験について ・試験委員会について ・年報について

	開催日	議題
第12回	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度一般選抜(前期日程)合格判定について ・平成11年度学外(国外)研究について ・平成11年度学外兼職について ・愛知県立大学奨学寄附金取扱規程(案)について ・愛知県立大学受託研究取扱規程(案)について ・愛知県立大学受託研究取扱規程実施細目(案)について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・11年度公開講座について ・教育センターからの研修員の受け入れについて
第13回	3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度社会人特別選抜(第2次募集)合格判定について ・平成11年度一般選抜(後期日程)合格判定について ・教員の短期大学兼務(免)について ・平成11年度学外兼職について ・平成11年度学外(国外)研究について ・学則第59条に基づく研修員の受け入れについて ・学生異動について ・愛知県立大学学則の一部改正について ・愛知県立大学における国際交流協定締結に関する基本的考え方 ・愛知県立大学受託研究取扱規程(案)について ・愛知県立大学受託研究取扱規程実施細目(案)について ・愛知県立大学奨学寄附金取扱規程(案)について ・インターンシップWG委員の選出について ・文学部日本文化学科の専門科目「自然地理学」の担当について ・平成11年度新入生・在学生ガイダンスに向けて ・写真撮影について ・教務課情報科学部担当職員の教授会への出席について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・物品購入に対する意見について ・平成11年度愛知県立大学情報科学部公開講座計画(案)について ・遠隔学習システムの構築について

	開催日	議題
平成 11年度 第1回	4月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・学生異動について ・既修得単位の認定について ・平成11年度非常勤講師の委嘱について ・平成11年度学外(国外)研究について ・平成11年度情報科学部予算配分(案)について ・愛知県立大学シンボルマーク募集要項(案)について ・校史編纂について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学科主任について ・物品購入について ・学生・教員交歓会について ・委員の変更について ・入試ホームページについて ・教育評価委員会について ・情報科学 I について ・TAOについて ・知事の訪問について ・外部資金審査申請書について ・教授会日程について
第2回	5月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・学外(国外)研究について ・外部資金の導入について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語科目の再履修について ・12年度予算案について ・教育評価委員会について ・インターンシップについて ・外部資金について ・公開講座実施委員会について ・学生・教員交歓ソフトボールについて ・県会議員の情報科学部訪問について
第3回	6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・学外(国外)研究について ・外部資金の導入について ・県立三大学単位互換制度情報科学部実施細則(案)について ・手続をしない休学期間満了者の取扱について ・平成12年度入試日程等について ・ワークステーション機種選定委員会の設置及び委員の選出について ・平成11年度公開講座実施委員会の設置及び委員の選出について ・ブリストル大学、湖南大学校との交流協定について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・特許権等について ・教育評価委員会中間報告 ・入学者追跡調査委員会の設置について ・情報施設管理運営委員会について
臨時	6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度編入学試験(推薦)合格判定について ・学外(国外)研究について ・外部資金の導入について ・県立三大学単位互換制度情報科学部実施細目(案)について

	開催日	議題
第4回	7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・学生異動について ・外部資金の導入について ・一般教育運営委員会規程の一部改正について(案) ・平成11年度非常勤講師の委嘱について ・平成12年度情報科学部予算要求について ・「教育・研究自己点検・自己評価報告書(1999年度)」の作成について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座について
臨時	8月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・定員削減について ・セクシュアル・ハラスメント関連事項について ・大学院の設置・拡充について ・後期一般教育科目の追加設定等に伴う非常勤講師委嘱及び後期一般教育科目 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・外部資金について
第5回	9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・定員削減について ・セクシュアル・ハラスメント関連事項について ・大学院の設置・拡充について ・愛知県立大学情報科学部履修規程の一部改正について ・情報施設管理運営委員会からの提案について ・平成11年度学外兼職について ・平成11年度学外(国外)研究について ・外部資金の導入について ・平成12年度学外(国外・甲)研究員候補者について ・大学院の研究教育用スペースについて ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・専門基礎科目検討委員会数理系科目分科会・物理系科目分科会の設置について ・情報科学部親睦会について ・教授会日程について
第6回	10月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・学生異動について ・教務部長候補者の選出について ・愛知県立大学学則及び愛知県立大学大学院学則の一部改正について ・自己点検・評価について ・自己点検・評価の学部委員の選出について ・愛知県立大学情報科学部履修規程の一部改正について ・学外(国外)研究について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・教授者の変更について ・将来計画委員会について ・東海情報通信学会について ・インターンシップ体験報告会について ・科学研究費補助金の申請について

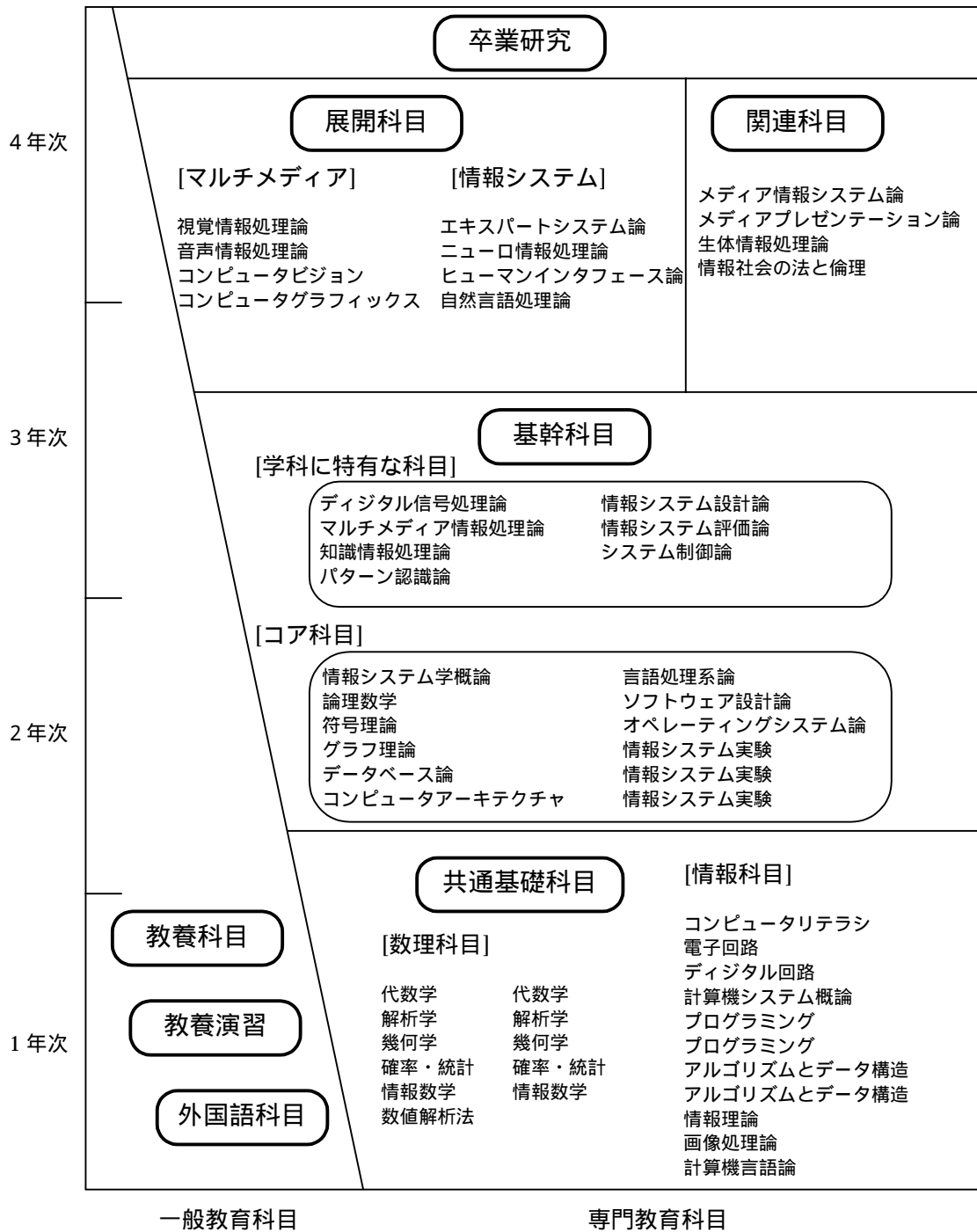
	開催日	議題
第7回	11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館長候補者及び教務部長候補者の選考に関する申し合わせ(案)について ・教務部長候補者の選出について ・平成11年度情報科学部後期予算配分(案)について ・平成11年度学外兼職について ・平成11年度学外(国外)研究について ・入試情報の公開に関する情報公開小委員会の審議結果について ・専修学校卒業者の編入学について ・学校教育法等の改正に伴う学則の改正についての検討事項について ・平成12年度時間割枠について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・年報について ・評議員選挙について ・編入学試験について ・12年度時間割作成について ・学術講演会について ・シラバスの作成について
臨時	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度推薦入学及び社会人特別選抜第1次選考合格判定について ・平成12年度編入学(第2次募集)合格判定について ・評議員候補者の選出について ・補習の実施方法について ・愛知県立大学、愛知県立芸術大学及び愛知県立看護大学の単位互換に関する運営会議要項(案)について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・時間割について ・他学科の専門選択科目について
第8回	12月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度推薦入学及び社会人特別選抜合格判定について ・コー大学、ラス・アメリカス大学との国際交流協定の締結について ・外部資金の導入について ・平成13年度編入学試験(推薦入学)の選考方法について ・平成11年度学外(国外)研究について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談員の推薦について ・物理系科目分科会報告 ・非常勤講師の連絡先について ・自己点検について

	開催日	議題
臨時	12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の割愛について ・外部資金の導入について ・愛知県立大学情報科学部倫理規程(素案)について ・愛知県立大学情報科学部外部資金審査委員会規程(素案)及び愛知県立大学外部資金審査基準内規(素案)について ・「当面の教員定数削減と長期的展望にたつ将来計画に関する基本的考え方(案)」、「平成14-20年度における教員定数削減及び長期的展望にたつ将来計画作成について(案)」について ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・時間割について ・年報について ・シラバス原稿について

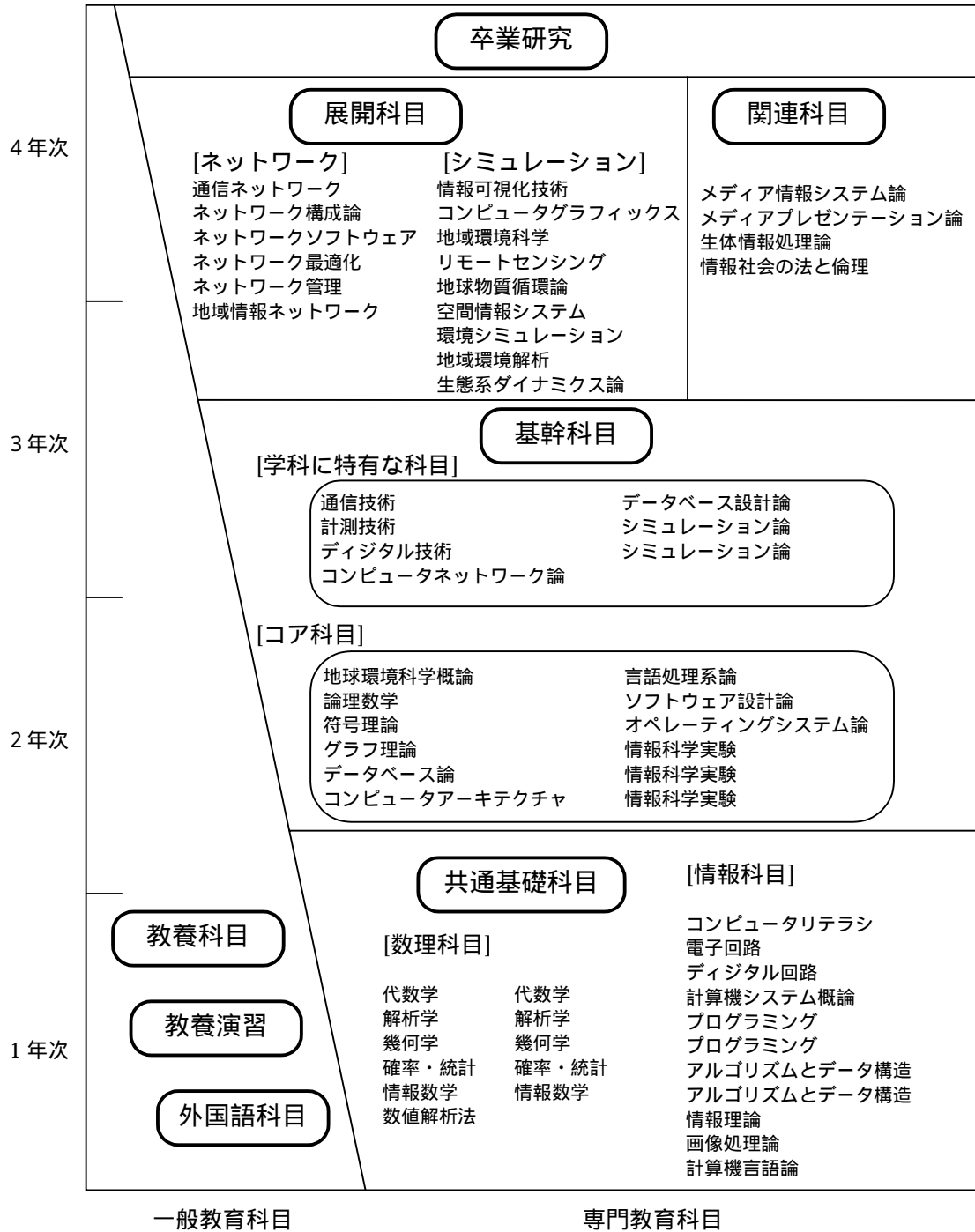
3 教育・カリキュラム

3.1 カリキュラム

情報システム学科



授 業 科 目		担当教員名	開講年次 (単位数)								卒業要件	
			1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
共通 基礎 科目	情報科目	コンピュータリテラシ	神山 齊己									必修 2.5 単位
		電子回路	堀場 勇夫									
		プログラミング	櫻井, 足立, 酒井									
		デジタル回路	堀場 勇夫									
		計算機システム概論	成瀬 正									
		プログラミング	櫻井, 足立, 酒井									
		アルゴリズムとデータ構造	何 立風									
		アルゴリズムとデータ構造	何 立風									
		画像処理論	村上 和人									
	情報理論	畑 雅恭										
	計算機言語論	山本 晋一郎										
	数理科目	代数学	丸田 辰哉									必修 2.2 単位
		代数学	丸田 辰哉									
		解析学	Si Si									
		解析学	Si Si									
		幾何学	丸田 辰哉									
		幾何学	丸田 辰哉									
		確率・統計	Si Si									
		確率・統計	Si Si									
情報数学		辻 孝吉										
情報数学		辻 孝吉										
数値解析法	小栗 宏次											
基 幹 科 目	情報システム学概論	堀場, 山田, 渡邊									必修 2.4 単位	
	符号理論	畑 雅恭										
	グラフ理論	太田 淳, 渡邊敏正										
	論理数学	成瀬 正										
	データベース論	何 立風										
	コンピュータアーキテクチャ	成瀬 正										
	オペレーティングシステム論	福田 晃										
	言語処理系論	山村 毅										
	ソフトウェア設計論	山本 晋一郎										
	情報システム実験	堀場 勇夫, 神山 齊己										
	情報システム実験	村上 和人, 山本 晋一郎										
	情報システム実験	成瀬 正, 山村 毅										
	知識情報処理論	山村 毅					2					選択 6 単位以上
	情報システム設計論	永井 昌寛					2					
情報システム評価論	永井 昌寛						2					
システム制御論	渡邊 教博						2					
パターン認識論	村上 和人						2					
マルチメディア情報処理論	高橋 友一				2							
デジタル信号処理論	堀場 勇夫				2							
展 開 科 目	視覚情報処理論	神山 齊己					2				選択 10 単位以上	
	音声情報処理論	武田 一哉					2					
	コンピュータグラフィックス	横井 茂樹						2				
	コンピュータビジョン	村上 和人							2			
	エキスパートシステム論	山口 高平						2				
	ニューロ情報処理論	渡邊 教博							2			
	自然言語処理論	山村 毅								2		
ヒューマンインタフェース論	岡林 茂						2					
関 連 科 目	メディア情報システム論	小栗 宏次						2			選択 2 単位以上	
	メディアプレゼンテーション論	小栗 宏次							2			
	生体情報処理論	戸田 尚宏								2		
卒 研	情報社会の法と倫理	松田 政行									必修 2 単位	
	卒業研究	各教員									必修 6 単位	
合 計			13	11	19	22	20	16	8	6	9.7 単位以上	



授 業 科 目		担当教員名	開講年次 (単位数)								卒業要件	
			1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後		
共通 基礎 科目	情報科目	コンピュータリテラシ										必修 2.5単位
		電子回路	奥田隆史									
		プログラミング	堀場勇夫									
		デジタル回路	櫻井, 足立, 酒井									
		計算機システム概論	堀場勇夫									
		プログラミング	成瀬 正									
		アルゴリズムとデータ構造	櫻井, 足立, 酒井									
		アルゴリズムとデータ構造	何 立風									
		画像処理論	何 立風									
		情報理論	村上和人									
	計算機言語論	畑 雅恭										
		山本晋一郎										
	数理科目	代数学	丸田辰哉									必修 2.2単位
		代数学	丸田辰哉									
		解析学	Si Si									
		解析学	Si Si									
		幾何学	丸田辰哉									
		幾何学	丸田辰哉									
		確率・統計	Si Si									
確率・統計		Si Si										
情報数学		辻 孝吉										
情報数学	辻 孝吉											
数値解析法	小栗宏次											
基 幹 科 目	地球環境科学概論	半田暢彦, 横田幸雄									必修 2.4単位	
	符号理論	畑 雅恭										
	グラフ理論	太田 淳, 渡邊敏正										
	論理数学	成瀬 正										
	データベース論	何 立風										
	コンピュータアーキテクチャ	成瀬 正										
	オペレーティングシステム論	福田 晃										
	言語処理系論	山村 毅										
	ソフトウェア設計論	山本晋一郎										
	情報科学実験	畑, 堀場, 神山										
	情報科学実験	安川, 村上, 山本										
	情報科学実験	安川, 奥田, 足立										
	通信理論	安川 博				2						
	デジタル通信	安川 博					2					
展 開 科 目	計測技術	横山隆三				2					選択 6単位以上	
	コンピュータネットワーク論	井手口哲夫					2					
	データベース設計論	勝野裕文						2				
	シミュレーション論	戸田尚宏						2				
	シミュレーション論	足立整治, 戸田尚宏							2			
	通信ネットワーク	奥田隆史							2			
	ネットワーク構成論	畑 雅恭							2			
ネットワーク最適化	奥田隆史								2			
ネットワークソフトウェア	井手口哲夫						2					
ネットワーク管理	井手口哲夫							2				
地域情報ネットワーク	山本 勝								2			
情報可視化技術	堀場勇夫						2					
コンピュータグラフィックス	横井茂樹							2				
環境シミュレーション	今里哲久								2			
地域環境科学	鈴木康弘								2			
地域環境解析	鈴木康弘								2			
生態系ダイナミクス論	瀬野裕美								2			
地球物質循環論	半田暢彦						2					
空間情報システム	寄藤 昂								2			
リモートセンシング	本多嘉明								2			
関 連 科 目	メディアプレゼンテーション論	小栗宏次								2	選択 2単位以上	
	自然環境基礎論	横田幸雄							2			
	環境機器分析	田浦俊明								2		
	自然環境基礎論	田浦俊明								2		
	大気ダイナミクス	福山 薫								2		
情報社会の法と倫理	松田政行											
卒 研	卒業研究	各教員									必修 2 単位 必修 6 単位	
合 計			13	11	19	22	20	26	16	6	9 7 単位以上	

3.2 一般教育科目、情報科目区分における「情報科学Ⅰ」・「利用者講習会」

文学部・外国語学部の学生に対して開講している一般教育科目の中に、情報科目の区分があり、情報処理教育センターでは、平成11年度は「情報科学Ⅰ」、「情報科学Ⅱ」、「情報科学Ⅲ」を開講した。また、平成9年度までに入学した学生に対しては、通年に渡って講習会を開催することで対応した。これに対して、情報科学部教員は、この講義・講習会の担当に協力した。情報処理教育センターで開講した講義・講習会及び担当教員一覧を以下に示す。

情報科学部の学生に対する利用指導については、専門教育科目のコンピュータリテラシーの講義を通じて、利用指導を実施した。

一般教育科目 情報科目

担当教員	開講時限	対象学科等	受講者数	備考
井手口哲夫	前期 水曜日 2時限	英米学科	40名	
太田 淳	前期 金曜日 2時限	スペイン学科	46名	
	後期 水曜日 1時限	文・外国語学部	48名	情報科学Ⅱ
奥田 隆史	前期 木曜日 1時限	中国学科	40名	
小栗 宏次	前期 水曜日 2時限	日本文化学科	35名	
何 立 風	前期 木曜日 7時限	日本文化学科	34名	
		フランス学科		
戸田 尚宏	前期 火曜日 1時限	児童教育学科	37名	
	前期 金曜日 2時限	フランス学科	47名	
永井 昌寛	前期 月曜日 2時限	国文学科	40名	
	前期 木曜日 1時限	ドイツ学科	37名	
村上 和人	前期 火曜日 7時限	英文学科	44名	
		児童教育学科		
山村 毅	前期 水曜日 6時限	社会福祉学科	27名	
山本晋一郎	前期 火曜日 7時限	国文学科	36名	
		スペイン学科		
山口 榮作 (情報処理教育センター)	前期 月曜日 2時限	英文学科	42名	
	前期 火曜日 1時限	社会福祉学科	47名	
	前期 水曜日 6時限	ドイツ学科	46名	
	前期 木曜日 7時限	中国学科	31名	
		英米学科		
	前期 月曜日 7時限	文・外国語学部	10名	情報科学Ⅱ
	後期 水曜日 1時限	文・外国語学部	48名	情報科学Ⅱ
	後期 月曜日 3時限	文・外国語学部	5名	情報科学Ⅲ

一般教育科目 旧カリキュラム

担当教員	開講時限	対象学科等	受講者数	備考
太田 淳	通年 月曜日 7時限	文・外国語学部	48名	情報科学

1999年 利用者講習会

回数	開講日	開講時間	定員	出席者	欠席者	講師	備考
1998年度 第10回	3月 30日	13:30 ~ 15:00	48名	20名	14名	山口	1
第11回	31日	18:00 ~ 19:20	48名	10名	7名	山口	2
1999年度 第1回	4月 5日	13:00 ~ 17:50	48名	37名	11名	山口	3
第2回	6日	13:00 ~ 17:40	48名	32名	12名	山口	3
第3回	28日	13:00 ~ 17:40	48名	41名	10名	山口	4, 5
第4回	7月 21日	13:00 ~ 17:40	48名	45名	5名	山口	3, 5
第5回	12月 1日	13:00 ~ 17:40	48名	16名	1名	山口,太田	3
第6回	22日	13:00 ~ 17:40	48名	1名	0名	山口	3

注：

：主として講習会の指導を担当する講師。他の講師は個々の学生に対する指導を分担

1：ダイアルアップ PPP 講習会

2：ダイアルアップ PPP 講習会（夜間主の学生を優先）

3：新規利用者講習会（全学対象）

4：新規利用者講習会（大学院生、転編入生優先）

5：参加予定者に補欠枠を準備したため、参加者と欠席者の合計が定員を上回っている

4 教員データ

情報科学部長 地域情報科学科

半田 暢彦 教授

最終学歴 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了

学位 理学博士（東京教育大学）

専門分野 地球化学, 海洋化学

研究概要 炭素、窒素などの親生物元素は、二酸化炭素、一酸化二窒素などの温室効果気体として地球環境変化に大きく関わっている。この研究では、地球表層システムを構成する大気、海洋、陸上植生、陸水などを通しての親生物元素の動態やこれに対する人間活動の変動ならびに陸上および海洋生態系の変動の影響を評価する。これらの研究を通して、地球温暖化と親生物元素動態の相互作用、相互のフィードバック機構を明らかにし、地球環境問題の解決に資する。

主要著書

半田暢彦

地球の物質循環と生態システムの変動（和田，安成編），岩波書店，pp.35-88, 1999

半田暢彦

大気水圏における地球温暖化，名古屋大学出版会，380pp., 1996

半田暢彦

海の生き物が及ぼす地球環境への影響 21世紀の地球環境を考える，日刊工業新聞社，pp.77-88, 1995

N. Handa and T. Ohsumi(editors)

Direct Ocean Disposal of Carbon Dioxide, TERRAPUB, Tokyo, 274pp., 1995

半田暢彦

海も汚れていく どうする地球環境，日本化学会編，大日本図書，pp.167-182, 1993

主要論文

Sohrin, Y., S. Iwamoto, M. Matsui, H. Ohba, E. Nakayama, N. Handa, K. Suzuki and M. Ishii

The distribution of Fe in the Australian sector of the Southern Ocean. *Deep-Sea Res.* 47, 55-84, 2000.

Nakatsuka, T., A. Hosokawa, N. Handa, E. Matsumoto and T. Masuzawa

¹⁴C budget of sinking particulate organic matter in Japan Trench: a new approach to estimate the contribution from resuspended particles in deep matter column. In: *Biogeochem. of Marine Organic Matter*, eds. by Handa, N., E. Tanoue and T. Hama, Terrapub-Kluwer, Amsterdam, 1999 (in press).

Sawada, K. and N. Handa

Historical variation of the Kuroshio path off central Japan over the last 25,000 years. *Nature*, 392, 592-595, 1999.

Handa, N

Carbohydrate metabolism in the marine diatom, *Skeletonema costatum*. *Marine Biol.*, 4, 208-214, 1969.

N. Handa and K. Nishizawa

Structural investigation of a laminaran isolated from *Eisenia bicyclis*, *Nature*, No.192, pp.1078-1080, 1961.

所属学会

日本地球化学会，日本海洋学会，日本陸水学会，American Soc. Limnology and Oceanography, American Geophysical Union, American Association for the Advanced Science, New York Academy of Science, 環境共生学会

受賞歴

地球化学協会学術賞，日本海洋学会賞

情報システム学科

小栗 宏次 教授

最終学歴 名古屋工業大学大学院工学研究科電気情報工学専攻博士後期課程修了

学位 工学博士(名古屋工業大学)

専門分野 医療情報システム, 知的情報処理, 生体工学

研究概要 (1)「コンピュータシミュレーションに関する研究」:対象物をモデル化し、仮想的にその機能をシミュレーションする手法に関する研究。(2)「知的診断支援システムの開発」:知的情報処理技術を用いた新しい疾病診断アルゴリズム及び診断支援システムの開発。(3)「感性情報処理に関する研究」:人間の感性(特に味覚機能)情報処理とその工学的応用に関する研究。(4)「マルチメディアを用いた生活支援システムに関する研究」:遠隔医療、遠隔介護福祉、遠隔教育及び情報通信技術を応用した地域情報化に関する研究。(5)「環境適合型サービスロボットのアプリケーション開発に関する研究」:医療・介護・福祉分野へのサービスロボット応用に関する研究。

主要著書

岩堀祐之, 小栗宏次

Cによるアルゴリズムとプログラム, 昭晃堂, 202pp., 1998

半田暢彦, 櫻井桂一, 辻孝吉, 成瀬正, 山口榮作, 畑雅恭, 岩田彰, 小栗宏次

未来を拓く情報科学, リバティ書房, 202pp.(分担執筆), 1997

小栗宏次

インターネット時代の情報発信入門, リバティ書房, pp.182

中田実, 小栗宏次, 黒田由彦, 林上, 小田雄三, 広木詔三, 近藤哲生, 伊藤義美, 舟橋厚, 板倉勝文

東海地方の情報と社会, 名古屋大学出版会, 260pp. (分担執筆), 1994

杉江日出澄, 岡崎明彦, 岩堀祐之, 小栗宏次

FORTTRAN77 と数値計算法, 182pp., 1992

主要論文

Tatsuya Shirai, Koji Oguri, Akira Iwata

A method of an effective learning for BP network from the data which contain well-known or especial data, Proceedings of Medical Informatics and Fuzzy Technology, Vol.1, pp.263-270, 1999

Toshitaka Sugimoto, Koji Oguri, Akira Iwata

Evaluation on the relation between emotional tastes and artificial tests by a neural network, Proceedings of Medical Informatics and Fuzzy Technology, Vol.1, pp.234-240, 1999

Koji Oguri, Akira Iwata

A mathematical investigation for oligosaccharide analysis using neural network for better diagnosis, Proceedings of 5th International Conf. on Neural Information Processing '98, Vol.2, pp.915-918, 1998

Koji Oguri, Akira Iwata

The utility of an amorphous model in computer simulation of myocardial Propagation, Computers in Cardiology IEEE Computer Society, Vol.95, pp.24-29, 1994

小栗宏次, 岩田彰, 深津俊明, 山内一信

ニューラルネットワークによる慢性肝疾患診断支援システム「NI-SYS」, 医用電子と生体工学(日本 ME 学会論文誌), Vol.32, N0.2, pp.24-29, 1994

所属学会

電子情報通信学会, 日本エム・イー学会, 医療情報学会, 日本心電学会

受賞歴

日本エム・イー学会若手研究者優秀賞(1987), 日本エム・イー学会研究奨励賞(1995), 電気関係学会研究奨励賞(1995), 日本エム・イー学会松尾賞(1995), 日本エム・イー学会科学新聞社賞(1995), 永井科学振興財団学術賞(1999)

情報システム学科

櫻井 桂一 教授

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科電気工学・電気工学第2及び電子工学専攻修士課程修了

学位 工学博士(名古屋大学)

専門分野 情報工学, 教育工学

研究概要 情報処理教育のようなコンピュータを一斉に使用する環境において速やかな応答が得られる情報システムを構成するためにネットワークの負荷を解析するなど、情報処理教育に適したコンピュータシステムについて研究するとともに、情報処理教育を支援するシステムについて研究する。また、プログラミング実習における学生のプログラムの編集過程や、学生に対するアンケート調査を効果的な情報処理教育の方法を研究する。

主要著書

半田暢彦, 櫻井桂一, 辻孝吉, 成瀬正, 山口榮作, 畑雅恭, 岩田彰, 小栗宏次
未来を拓く情報科学, リバティ書房, pp.46-70, 1997

櫻井桂一, 熊谷毅
PASCAL で学ぶプログラミング, 昭晃堂, pp.1-161, 1992

主要論文

鈴木裕利, 三輪和久, 櫻井桂一
計算機システムを用いた協調作業過程に関する実証的研究, 情報文化研究(名古屋大学大学院人間情報学研究科), No.5, pp.67-82, 1997

櫻井桂一, 三輪和久, 岡田稔, 岩田晃, 松本哲也, 池田幹男
時系列キー入力データの分析結果に対する一考察, 日本教育工学雑誌, Vol.20, No.3, pp.179-185, 1996

岡田稔, 櫻井桂一, 岩田晃
教育用大規模分散型 WS システムの一構成方法, 情報処理学会論文誌, Vol.37, No.12, pp.2447-2456, 1996

櫻井桂一, 三輪和久, 岡田稔, 熊谷毅
プログラミング実習過程を記録するためのデータ収集システム, 日本教育工学雑誌, Vol.20, No.2, pp.123-132, 1995

石原進, 岡田稔, 岩田晃, 櫻井桂一
イベント駆動方式による LAN 通信量解析モデル, 電子情報通信学会論文誌 A, J78-A, No.3, pp.961-964, 1995

所属学会

電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本教育工学会

情報システム学科

辻 孝吉 教授

最終学歴 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程電子工学専攻修了

学位 工学博士（大阪大学）

専門分野 コンカレントシステム工学, ネット理論, 情報数理

研究概要 システムの動作は問題の設定により離散的な事象変化を用いて解析することができ、プログラムから人間の行動に至るまで非常に多くのものが含まれる。このようなシステムを解析するための有力な手法に PN モデルを用いる方法がある。本研究室では PN の理論的研究とその拡張モデル(Fuzzy-PN 等)の提案、学習推論機構の提案、それらの理論的検討、シミュレーションを通して実情報システムへ応用(学習型 Fuzzy 推論、通信プロトコル、生産システム等に応用)を研究している。

主要著書

共著

未来を拓く情報科学, リバティ書房, 1997

共著

Fuzzy Petri Nets and their Applications to Fuzzy Reasoning Systems Control, Bien/Min(eds.): Fuzzy Logic and its Applications to Engineering, Information Sciences, and Intelligent Systems, Kluwer Academic Publishers (Netherlands), pp.225-234, 1995

主要論文

Kohkichi Tsuji

Structural Properties for Transformation of Extended Marked Graphs, Proceedings of the IEEE International Symposium on Circuits and Systems, 1999

A. Ohta, K. Tsuji, T. Hisamura

On Liveness of Extended Partially Orderd Condiion Nets, Transactions of the IEICE of Japan, Vol.E82-A, No.11, pp.2576-2578, 1999

辻孝吉

ペトリネットの知能システムへの応用, システム制御情報学会誌, Vol.42, No.8, pp.457-462, 1998

Kohkichi Tsuji

Useful Necessary and Sufficient Condition for reachability of Extended Marked Graphs, Proceedings of the IEEE International Symposium on Circuits and Systems, 1998

辻孝吉

拡張マークグラフの構造的性質と状態方程式の解について, 電子情報通信学会誌, Vol.44, No.7, pp.1056-1063, 1997

所属学会

IEEE, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会

情報システム学科

成瀬 正 教授

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士前期課程修了

学位 博士(工学)(名古屋大学)

専門分野 計算機工学, 並列処理, 分散協調

研究概要 長年計算機アーキテクチャ研究に携わってきた。データフロー計算機、コンピュータグラフィックス向き並列計算機の研究開発を行ってきた。これらの技術蓄積をベースとして、最近は、複数移動ロボットシステムの研究を行っている。具体的にはロボットサッカーを例題にとり、ビジョンを含むロボットシステムの構築、複数ロボットの協調動作、およびチームプレー(戦略)の研究を行っている。

主要著書

共著

未来を拓く情報科学, リバティ書房, 1997

共著

From Play Recognition to Good Play Detection -Reviewing RoboCup 97 Teams from Log file-, (Asada, Kitano Eds.) RoboCup-98: Robot Soccer World Cup II, Lecture Notes in Artificial Intelligence 1604, Springer-Verlag, 1999

主要論文

村上和人, 成瀬正

局所領域内の Hough 変換を用いた高速な直線検出法, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J83 - DII, No.3, 2000(掲載予定)

尺長健, 成瀬正

組合せ問題の並列処理のための組合せ全数生成, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J80-D1, No.1, pp.21-30, 1997

成瀬正, 新谷幹夫, 斉藤隆文

動的部分木を用いた光線追跡法-そのアルゴリズムと高速化効果の評価, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J75-D2, No.3, pp.554-564, 1992

成瀬正

3次元ベクトル演算の並列実行に関する考察, 情報処理, Vol.31, No.5, pp.643-649, 1990

T. Naruse, M. Yoshida, T. Takahashi, S. Naito

SIGHT A Dedicated Computer Graphics Machine, Computer Graphics Forum, Vol.6, No.4, pp.327-334, 1987

所属学会

電子情報通信学会, 情報処理学会, ACM

受賞歴

情報処理学会創立 30 周年記念論文賞

情報システム学科

堀場 勇夫 教授

最終学歴 名古屋大学工学部電気学科卒業

学位 工学博士（名古屋大学）

専門分野 医用画像処理，道路運転環境認識，高速画像処理アーキテクチャー

研究概要 医用画像処理については人工知能の技術を活用して、医師の知識・経験を自動習得する能力及び目的に応じて適応的に自己を構成する自己組織能力を備え、診断医と協調し、諸要求に柔軟に対応できるシステムの研究開発を行っている。また、道路運転環境認識については、極めて多次元かつ多様な複雑系である道路交通状況の状況理解およびその動的制御を行うシステムの実現、さらに、これを実行する高速プロセッサの開発を行っている。

主要著書

共著

医用画像工学 医用放射線科学講座第 14 巻，医歯薬出版株式会社，pp.108-121，1997

共著

論理回路演習，朝倉書店，pp.34-133，1985

共著

X 線像のデジタル化の諸問題 医療のための画像工学 最近の進歩と将来展望，実業公報社，pp.142-158，1983

主要論文

小林新，岡林繁，堀場勇夫，杉江昇，工藤博章，山村毅，大西昇

視覚系における動的な群化過程のニューラルネットワークモデル，映像情報メディア

学会誌，Vol.53，No.1，1999

寺本篤司，堀場勇夫，杉江昇，原田潤太

局所選択型ニューラルフィルタによる MR 像の画質改善，情報処理学会論文誌，Vol.39，No.11，pp.2988-2996，1988

山田宗男，堀場勇夫，杉江昇，上田浩次

画像情報による路面状態の判別，情報処理学会論文誌，Vol.38，No.12，pp.2648-2655，1997

谷寄徹也，上田浩次，池谷和夫，堀場勇夫

背景画像更新処理を用いた路面湿潤状況の検出，電子情報通信学会論文誌，Vol.38，No.13，No.9，pp.2270-2277，1997

松尾啓志，岩田彰，堀場勇夫，鈴木宣夫

Three-Dimensional Image Reconstruction by Digital Tomo-Synthesis Using Inverse Filtering，IEEE Trans. Med. Imaging，Vol.38，No.15，pp.307-313，1993

所属学会

日本医用画像工学会，日本放射線技術学会，電子情報通信学会，日本エム・イー学会，日本超音波医学会，情報処理学会

受賞歴

「X 線回転横断断層装置」について(社)発明協会より発明奨励賞を受賞(1988)

「心臓用高速・高精細 DFA 装置」について(社)日本 ME 学会より科学新聞賞・新技術開発賞を受賞(1990)

「実装基板の半田付け自動検査装置」について科学技術振興事業団より独創的研究成果育成事業に採択される(1997)

情報システム学科

渡邊 教博 教授

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学

学位 工学博士（名古屋大学）

専門分野 システム制御, 知能情報処理, 非線形現象の解析

研究概要 生産システムの計画・設計・運用・制御・管理の各分野における様々な問題を解決するための基礎理論および応用に関する研究を行っている。非線形システムの制御問題には特に関心を持っており、ニューラルネットなどの知能情報処理技法を用いた制御手法の開発を行っている。また、近年は都市ごみ燃焼制御系におけるカオスの発生原因の究明とその対策、さらには環境への影響を配慮した制御手法の開発も行っている。

主要著書

N. Watanabe

Application of Adaptive Neural Network Based Control Strategies to a Continuous Polymerization Reactor, in A. Bulsari ed., Neural Networks for Chemical Engineers, Chap. 25, pp.611-626, Elsevier, 1995

N. Watanabe

A Comparison of Neural Network Based Control Strategies for a CSTR, in D. Bonvin ed., Advanced Control of Chemical Processes(ADCHEM'94), Pergamon, pp.377-382, 1994

渡邊教博

ニューラルネットワークとそのプロセスシステムへの応用, 化学工学会編:化学工学の進歩 27「知的プロセスシステム」7章, 槇書店, 1993

渡邊教博他

化学工学会編:化学工学のための応用数学, 丸善, 1993

渡邊教博, 戸狩吉孝, 米村透

プロセス制御, 化学工学会編:新版「化学工学 - 解説と演習」第11章, 槇書店, 1992

主要論文

渡邊教博

ごみ燃焼制御系における分岐とカオス, 化学工学論文集, Vol. 24, No. 3, pp.471-475, 1998

S. Kato and N. Watanabe

Use of the Genetic Algorithm for Learning of Neural Networks, Proc. of 5th International Meeting of PSE, pp.1311-1315, 1994

K. Nakamoto and N. Watanabe

Multivariable Control Experiments of Non-Linear Chemical Processes Using Non-Linear Feedback Transformation, J. Process Control, Vol.1, pp.140-145, 1991

福井良夫, 渡邊教博, 栗本英和, 松原正一

逐次競争反応 CSTR の多変数周期制御実験, 化学工学論文集, Vol.13, pp.304-309, 1987

栗本英和, 渡邊教博, 松原正一

周期蒸留塔のリレーフィードバック制御, 計測自動制御学会論文集, Vol.22, pp.224-229, 1986

所属学会

計測自動制御学会, システム・制御・情報学会, 化学工学会

情報システム学科

神山 斉己 助教授

最終学歴 豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程システム情報工学専攻修了

学位 工学博士（豊橋技術科学大学）

専門科目 神経情報処理, 視覚情報処理, シミュレーション技術

研究概要 網膜神経回路を対象とした神経生理実験、網膜内神経細胞の数理モデル構築、数理モデルのシミュレーション解析を通し、網膜における視覚情報の受容、処理、伝達の具体的機構を解明する。さらに、動画や自然画像に対する網膜神経回路活動の解析を行うため、大規模神経回路モデルの並列計算機によるシミュレーション技術、効率的シミュレーション環境の開発を進めている。

主要著書

池野英利, 神山斉己

脳・神経システムの数理モデル(日本生物物理学会シリーズ・ニューバイオフィジックス刊行委員会・臼井支朗編) 第3章 細胞膜のイオン電流モデル, 共立出版, pp.44-65, 1997

神山斉己

脳・神経システムの数理モデル(日本生物物理学会シリーズ・ニューバイオフィジックス刊行委員会・臼井支朗編) 第4章 網膜細胞の数理モデル, 共立出版, pp.66-86, 1997

臼井支朗, 神山斉己, 中内茂樹

基礎と実践 ニューラルネットワーク (臼井支朗, 岩田彰, 久間和生, 浅川和雄編) 1 神経系の構造と機能, 2 ニューラルネットワークとは, pp.15-31, コロナ社, 1995

主要論文

S. Usui, Y. Kamiyama, H. Ishii, T.Ogura and A. Ishihara

Ionic current model of the outer retinal cells, Modeling in the Neurosciences (Roman R. Poznanski ed., Harwood Academic Publishers), pp.293-319, 1999

神山斉己, 臼井支朗

脳の出窓:網膜神経回路のシミュレーション研究, Computer Today, Vol.36, No.6, pp.32-40, 1997

S. Usui, A. Ishihara, Y. Kamiyama and H. Ishii

Ionic current model of bipolar cells in the lower vertebrate retina, Vision Research, Vol.36, No.24, pp.4069-4076, 1996

Y. Kamiyama, T. Ogura and S. Usui

Ionic current model of the vertebrate rod photoreceptor, Vision Research, Vol.36, No.24, pp.4059-4068, 1996

S. Usui, Y. Kamiyama, H. Ishii and H. Ikeno

Reconstruction of retinal horizontal cell responses by the ionic current model, Vision Research, Vol.36, No.12, pp.1711-1719, 1996

所属学会

電子情報通信学会, 日本神経回路学会, 日本生理学会, 日本神経科学学会, 日本生物物理学会, ARVO (Association for Research in Vision and Ophthalmology), Biophysical Society

情報システム学科

永井 昌寛 助教授

最終学歴 名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程修了

学位 博士(工学)(名古屋工業大学)

専門分野 システム工学, 医療情報システム

研究概要 産業界のみならず、医療・保健・福祉・歯科分野等における各種のシステムを調査、分析、計画、設計、改良、評価していくために必要な手法、方法、手順、思考、発想、技術等を研究・開発するとともに、具体的なシステムにこれらの研究成果を適用して、望ましいシステムに創り上げていく研究を行っている。

主要論文

永井昌寛, 山本勝, 横山淳一, 東松信平

8020 支援情報システムの設計 ~ IC カードを利用した歯科情報システムの提案 ~, 医療情報学, 17(4), pp.573-586, 1997

永井昌寛, 山本勝

救急医療情報システム導入に関する意識実態分析, 医療情報学, 17(2), pp.133-139, 1997

M. Nagai, M. Yamamoto and J. Yokoyama

Studies on Information Network System among Minor Enterprises, Proceedings of the 2nd Information Conference on OA & Information Management, pp.313-316, 1996

M. Nagai, M. Yamamoto and T. Numata

Current Assessment and Proposed Improvement to Emergency Medical Information Systems in Japan, Medical Informatics, Vol.19, No.1, pp21-36, 1994

M. Yamamoto, M. Nagai and M. Ohshima

Implication of Medical Information Systems for Community Health Care in Japan, Medical Informatics, Vol.17, No.2, 1992

所属学会

日本医療情報学会, 日本病院管理学会, オフィス・オートメーション学会

情報システム学科

丸田 辰哉 助教授

最終学歴 岡山大学大学院自然科学研究科システム科学専攻後期博士課程修了

学位 学術博士（岡山大学）

専門分野 代数的符号理論, 有限幾何

研究概要 有限体上の線形符号の存在限界と分類について、幾何学的に研究している。線形符号には、情報の伝達速度を左右する「長さ」、伝達できる情報量を示す「次元」及び誤り訂正の能力を表す「最小距離」という3つの重要なパラメータがあり、これらの内の2つを固定して残りのパラメータの値を最適化する問題に取り組んでいる。最近は、特に、Griesmer 限界に達する線形符号の存在性と存在する場合の分類に関して、有限射影幾何の手法を用いて研究を行っている。

主要論文

T. Maruta

On the existence of cyclic and pseudo-cyclic MDS codes, *European Journal of Combinatorics* 19, pp.159-174, 1998.

T. Maruta

On the achievement of the Griesmer bound, *Designs, Codes and Cryptography* 12, pp.83-87, 1997

T. Maruta

On the minimum length of q -ary linear codes of dimension five, *Geometriae Dedicata*, Vol.65, pp.299-304, 1997

I. Landgev, T. Maruta and R. Hill

On the nonexistence of quaternary $[51, 4, 37]$ codes, *Finite Fields and their Applications*, No.2, pp.96-110, 1996

T. Maruta

Cyclic and pseudo-cyclic MDS codes of dimension three, *Atti Sem. Mat. Fis. Univ. Modena*, XLIII, pp.529-533, 1995

所属学会

日本数学会

情報システム学科

村上 和人 助教授

最終学歴 名古屋大学理学部物理学科卒業

学位 理学士（名古屋大学）

専門分野 画像処理, 画像理解, 感性情報処理

研究概要 (1)画像処理アルゴリズム、特に、Hough 変換を用いた直線、円などの図形特徴抽出アルゴリズムの高速化と高度化に関する研究、(2)X 線フィルムから溶接欠陥を自動検出するシステムなどの画像処理アルゴリズムの産業応用をテーマとして研究している。最近は、(3)顔画像処理、インタラクティブな似顔絵生成システム構築を通じた視覚感性情報処理の研究、(4)サッカーロボットの高速・自律ビジョンシステムの研究に取り組んでいる。

主要著書

村上和人はじめ 74 名

目視検査の自動化技術, 輿水大和監修, (株)テクノシステム, pp.389-400, 1995

村上和人はじめ 14 名

目視検査の自動化事例集, 山本和彦監修, (株)新技術コミュニケーションズ, pp.22-32, 1991

主要論文

村上和人, 輿水大和

似顔絵生成と表情生成の統合について, テレビジョン学会誌, Vol.50, No.10, pp.1515-1521, 1996

村上和人, 輿水大和, 中山晶, 福村晃夫

錯視を用いた似顔絵生成システム PICASSO について, 情報処理学会論文誌, Vol.34, No.10, pp.2106-2116, 1993

村上和人, 輿水大和

溶接検査の画像処理とエキスパートシステムの統合, 電気学会論文誌 C, Vol.112, No.2, pp.73-80, 1992

村上和人, 輿水大和

Hough 変換平面における凸包抽出法について, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J73-D-II, No.4, pp.597-605, 1990

村上和人, 輿水大和, 長谷川錦治

画像処理手順のエキスパート知識をガイド情報に持つ会話型溶接欠陥識別システム, 情報処理学会論文誌, Vol.29, No.5, pp.114-125, 1988

所属学会

電子情報通信学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 日本音響学会, 日本顔学会, 顎顔面バイオメカニクス学会, 日本非破壊検査協会

受賞歴

第 22 回画像工学コンファレンス優秀ポスター論文賞

平成 2 年度日本非破壊検査協会奨励賞

第 20 回画像工学コンファレンス優秀ポスター論文賞

第 3 回画像センシング技術シンポジウム優秀ポスター論文賞

情報システム学科

山村 毅 助教授

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程単位取得退学

学位 博士(工学)(名古屋大学)

専門分野 自然言語処理, 視覚情報処理, 画像処理

研究概要 科学技術の発展に伴い様々な分野で機械化が進み、生産の効率性と生活の快適性が高められている。これをさらに進展させるために、人間のような知的な能力を持った機械が要求されている。このような観点から、人が言葉や図形を解釈する機構について解析するとともに、それを利用した人間の知的作業代行システムの実現に重点を置いた研究を行っている。

主要論文

玉木徹, 山村毅, 大西昇

画像系列からの人物領域の抽出, 電気学会論文誌 C, Vol.119-C, No.1, pp.37-43, 1999

市岡裕嗣, 山村毅, 佐川雄二, 大西昇, 杉江昇

文表層情報に基づくアブストラクトの評価, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J81-D-II, No.9, pp.2159-2167, 1998

松久祥子, 山村毅, 大西昇, 杉江昇

有彩色物体を含むシーン中の半透明物体の検出について, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J80-D-II, No.7, pp.1695-1704, 1997

山村毅, 滝沢和明, 大西昇, 杉江昇

主観的輪郭に示唆を得た、重なり合った物体の内部輪郭の生成, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J78-D-II, No.5, pp.880-883, 1995

山村毅, 大西昇, 杉江昇

観察の概念に基づく照応解決法, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J77-D-II, No.1, 1994

所属学会

電子情報通信学会, 情報処理学会, IEEE

情報システム学科

山本 晋一郎 助教授

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程後期課程終了

学位 博士(工学)(名古屋大学)

専門分野 ソフトウェア工学, 言語処理系, ユーザーインタフェース

研究概要 高機能ソフトウェアの効率的な開発法に関する研究を行っているが、狭い意味のソフトウェア(すなわちプログラム)に関する研究だけではなく、コンテンツやマルチメディアタイトルの作成とその提供方法やユーザインタフェースに関する研究も含んでいる。(1)上流から下流までソフトウェア開発のすべての工程を対象とした開発方法論とその支援環境に関する研究 (2)マルチメディアコンテンツの作成方法と検索に関する研究 (3)新しい入力デバイスとその応用に関する研究を行なっている。

主要論文

福安直樹, 山本晋一郎, 阿草清滋

細粒度リポジトリに基づいた CASE ツール・プラットフォーム Sapid, 情報処理学会論文誌, Vol.39, No.6, pp.1990-1998, 1998

福安直樹, 山本晋一郎, 阿草清滋

細粒度ソフトウェア・リポジトリに基づいたソースプログラムの安全な変更, コンピューターソフトウェア Vol.15, No.4, pp.78-81, 1998

Yoshinari Hachisu, Shinichirou Yamamoto, Takeshi Hamaguchi, Kiyoshi Agusa

An Efficient Implementation of Term Rewriting System on a Distributed Memory Architecture, IEICE Transaction on Information and Systems, Vol.E80-D, No.4, pp.510-517, 1997

吉田敦, 山本晋一郎, 阿草清滋

意味を考慮した差分抽出ツール, 情報処理学会論文誌, Vol.38, No.6, pp.1163-1171, 1997

山本晋一郎, 石川亮, 酒井正彦, 阿草清滋

共有メモリ型並列計算機における項書換え系の実現方式, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J78-D-I, No.6, pp.559-562, 1995

所属学会

情報処理学会, 日本ソフトウェア科学会, 電子情報通信学会

受賞歴

平成 10 年度情報処理学会論文賞

情報システム学科

大久保 弘崇 助手

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程後期課程修了

学位 修士(工学)(名古屋大学)

専門分野 オブジェクト指向言語, 代数的仕様記述

研究概要 オブジェクト指向言語を中心として、プログラミング言語の記述性、信頼性を向上させる方法について、形式的アプローチに基づく手法の開発を行っている。プログラムの実行時エラーを防ぐための型システムとそれをを用いた静的型検査アルゴリズム、代数的仕様記述の枠組みを応用し、プログラムが仕様を満たすことを自動検証するシステムについて研究している。

主要論文

大久保弘崇, 坂部俊樹, 稲垣康善

オブジェクト指向言語におけるクラス集合型検査法, ソフトウェア工学の基礎 I, pp.51-60, 1996

所属学会

情報処理学会, ソフトウェア科学会

情報システム学科

粕谷 英人 助手

最終学歴 名古屋大学大学院工学研究科電子情報学専攻博士課程後期課程単位取得退学

学位 修士(工学)(名古屋大学)

専門分野 計算理論, 定理自動証明

研究概要 代数的仕様記述法などのように、等式の集合によって仕様やプログラムを記述したものを、直接的に実行したり、その正当性の検証を行う方法として項書換え系が用いられる。項書換え系の実行に必要な性質である、停止性と合流性についての研究から、項集合書換え系という計算モデルを作りその性質に関する研究を行っている。

主要論文

粕谷英人, 酒井正彦, 山本晋一郎, 阿草清滋

項集合書換え系とその合流性, 電子情報通信学会和文論文誌, Vol.J80-D-I, No.4, pp.325-334, 1997

所属学会

電子情報通信学会, ソフトウェア科学会

情報システム学科

田 学軍 助手

最終学歴 名古屋工業大学大学院工学研究科電気情報工学専攻博士後期課程修了

学位 博士(工学)(名古屋工業大学)

専門分野 電子情報

研究概要 地震現象を電磁波の観測で把握し、解明する研究を行っている。地殻の破壊に至る前段階で電気的特性が変化し、異常電磁波が発生する。電子技術とコンピュータによる情報処理技術の適用によって、異常電磁波信号を他の環境電磁波から分離し、電磁界理論による放射特性と観測データの対比、モデルのコンピュータシミュレーションによって地震及び地殻活動を推定評価しようとする研究である。

主要論文

M. Hata, I. Takumi, S. Yabashi and X. Tian

An anomaly of ELF band vertical magnetic flux as a precursor of dome formation at Unzen volcano and its model analysis, Physics of the earth and planetary interiors, No.105, pp.271-277, 1998

X. Tian and M. Hata

Analysis of Seismogenic Radiation and Transmission Mechanisms, Journal of Atmosphere Electricity, Vol.16, No.3, pp.227-235, 1996

M. Hata, X. Tian, et al.

ELF Horizontal Magnetic Flux Precursor of the Moderate M5.8 Yamanashi'96 Inland Earthquake, Journal of Atmosphere Electricity, Vol.16, No.3, pp.199-220, 1996

X. Tian, M. Hata

Numerical computation and analysis of EM emission resulted from earthquake, Asia-pacific conference on environmental electromagnetics, CEEM'96, Xian, China, 1996

X. Tian, M. Hata

Analysis of EM Radiation from Earthquake, 6th International Conference on Ground Penetrating Radar, Tohoku, 1996

所属学会

電気学会

地域情報科学科

井手口 哲夫 教授

最終学歴 電気通信大学電気通信学部通信工学科卒業

学位 博士(工学)(東北大学)

専門分野 コンピューターネットワーク、ネットワークアーキテクチャ、通信プロトコル

研究概要 情報通信システムにおける LAN 及び広域ネットワークに関するインターネットワーキング技術、ネットワークアーキテクチャ、通信プロトコル設計・評価、ネットワーク管理方式、モバイル通信方式、タイムクリティカル通信方式等の研究により、グローバルネットワーク、メトロポリタンネットワーク及び LAN の連携と共存を可能とする通信ネットワーク構成法の確立を目指す。

主要著書

井手口哲夫

ネットワークアーキテクチャと通信プロトコル, 斉藤忠夫監修, オーム社, 1993

坂下善彦, 井手口哲夫, 滝沢誠, 水野忠則

分散システム入門, 近代科学社, 1993

石坂充宏, 井手口哲夫, 厚井裕司, 柴田信之, 中塚重雄, 松田主税

情報通信プロトコル(改訂2版), 斉藤忠夫監修石坂編, オーム社, 1991

水野忠則, 井手口哲夫(共訳)

分散システム・デザイン, 工学社, 1987

水野忠則, 井手口哲夫, 勝山光太郎, 中川路哲夫(共訳)

電子メールとメッセージ通信, 工学社, 1986

主要論文

矢部正行, 井手口哲夫, 永島規充, 厚井裕司, 渡邊晃

コマンド・レスポンス型タイムクリティカル通信プロトコルの提案と評価, 情報処理学会論文誌, Vol.39, No.2, pp.293-302, 1998

厚井裕司, 井手口哲夫, 藤井照子, 渡邊晃, 矢部正行, 白鳥則郎

トークン保持時間可変方式によるタイムクリティカル通信プロトコルの提案と評価, 情報処理学会論文誌, Vol.38, No.12, pp.2608-2616, 1997

T. Ideguchi, S. Seno, Y. Kouji and A. Watanabe

An Implementation of a Hierarchical LAN Management System Based Upon Analysis of Network Management Operations, IEICE Transaction on Communications, Vol.E80-B, No.6, pp.841-849, 1997

渡邊晃, 厚井裕司, 井手口哲夫, 横山幸雄, 妹尾尚一郎

暗号技術を用いたセキュア通信グループの構築方式とその実現, 情報処理学会論文誌, Vol.38, No.4, pp.904-914, 1997

井手口哲夫, 野口正一, 厚井裕司, 永島規充, 渡邊晃, 妹尾尚一郎

データ圧縮機能をもつタイムクリティカル通信プロトコルの提案と評価, 情報処理学会論文誌, Vol.37, No.12, pp.2408-2418, 1996

所属学会

電子情報通信学会, 情報処理学会, IEEE

地域情報科学科

今里 哲久 教授

最終学歴 京都大学理学部地球物理学科卒業

学位 理学博士（京都大学）

専門分野 海洋物理学（数値シミュレーションによる海洋の物質輸送と水塊形成機構）

研究概要 これまで、風波の発達機構の観測・実験的研究、数値実験や人工衛星データ解析による沿岸海域の海水交換機構や全世界海洋中の海水運動に伴う熱・物質の輸送過程の研究を行ってきた。現在は、海水交換機構の研究で開発した標識粒子追跡法を用いて、海洋の溶存酸素極小層形成過程と基礎生産量に関する数値シミュレーションによる研究を行っている。海水は、海面で熱や水・酸素などの物質を大気との間で交換しながら、深層を含めた海洋全体の中を数千年をかけて移動し、熱や物質を輸送する。その結果として現れる現在の海洋システムと水温や溶存物質の分布が如何にして形成され、維持されるのかを明らかにしようとする研究の一環として、この溶存酸素極小層形成過程の研究を行っている。

主要著書

今里哲久

海洋科学教育の問題点，月刊海洋，印刷中，1999.

N.IMASATO, H.NAGASHIMA, H.TAKEOKA and S.FUJIO

Diagnostic approaches on deep ocean circulation. 307-331. In deep ocean circulation, physical aspects. Ed. by T.TERAMOTO, Elsevier, PP., 1993.

今里哲久，秋友和典，奈良井憲正

紀伊水道の沿岸性海洋前線の物理モデル，梶浦欣二郎編，海洋の動態，恒星社恒星閣，188-195，(531p.)，1985.

IMASATO, Norihisa

Seiche. in "Lake Biwa" ed. by SHOJI HORIE, Dr. W.Junk Publishers, Dordrecht, The Netherlands, 237-256 (654p.)，1984.

今里哲久

潮流による交換機構，55-67．平野敏行編，沿岸域保全のための海洋環境科学，恒星社恒星閣，570pp.，1983.

主要論文

N.IMASATO, T.KOBAYASHI and S.FUJIO

Study of water motion at the dissolved oxygen minimum layer and local oxygen consumption rate from the Lagrangian view point, Jour. Oceanogra., (in press), 1999.

S.FUJIO, T.KADOWAKI and N.IMASATO

World ocean circulation diagnostically derived from hydrographic and wind stress Fields, Part I: The velocity field. J.G.R., 97(C7), 11163-11176, 1992.

B.QIU, T.TODA and N.IMASATO

On Kuroshio front fluctuations in the East China Sea using satellite images And in-situ observational data. J.G.R., 95, C10, 18191-18204, 1990.

N.IMASATO, T.AWAJI and H.KUNISHI

Tidal exchange through Naruto, Akashi and Kitan Straits. Jour. Oceanogra. Soc Japan, 36, 151-162, 1980.

N.IMASATO

The mechanism of the development of wind-wave spectra. Jour. Oceanogra. Soc. Japan, 32, 253-266, 1976.

所属学会

日本海洋学会，日本陸水学会，日本海洋気象学会，日本海洋理工学会，American Meteorological Society，American Geophysical Union

地域情報科学科

田浦 俊明 教授

最終学歴 広島大学大学院理学研究科化学専攻博士課程後期修了

学位 理学博士（広島大学）

専門分野 錯体化学, 分子認識の化学

研究概要 生体内にある蛋白質はそれぞれの役割に応じた様々な機能を持っている。この機能が現れる機構を明らかにするため、生体分子解析用金属錯体プローブを開発し、蛋白質の機能発現部位の精密構造解析を行っている。同時に巨大分子である蛋白質は既に知られている機能発現部位以外の潜在的活性部位を有している可能性があり、核磁気共鳴装置や円二色性分散計を用いて蛋白質の新規に有用な機能を見出すべく研究を進めている。

主要著書

坂本政臣, 田浦俊明, 藤井有起

実験化学講座 17 無機錯体・キレート錯体(日本化学会), 丸善, pp.299-316, 1991

主要論文

Toshiaki Taura

Inversion of Stereoselectivity in the Association between Tris(oxalato)cobaltate(III) and Bovine Serum Albumin by the Addition of Dioxane to Aqueous Solutions, *Inorganic Chemistry Communications*, Vol.1, No.2, pp.77-79, 1998

Toshiaki Taura

Spectrochemical Series for the Outersphere Coordination of Carboxylatocobaltate(III) Complexes with Solvent Molecules, *Bulletin of the Chemical Society of Japan*, Vol.64, No.8, pp.2362-2371, 1991

Toshiaki Taura

Carbon-13 Nuclear Magnetic Resonance Spectra of Potassium (Ethylenediaminetetraacetato)cobaltate(III) in Organic Solvents, *Inorganic Chemistry*, Vol.27, No.16, pp.2845-2847, 1988

Klaus Bernauer, Robert Deschenaux and Toshiaki Taura

Stereoselectivity in Reactions of Metal Complexes VII. Asymmetric Synthesis of Amino Acids by Metal Ion-Promoted Transamination, *Helvetica Chimica Acta*, Vol.66, No.7, pp.2049-2058, 1983

Toshiaki Taura

Stereoselectivity in Ion-Pair Formation. The Contribution of the Rotamers to the Interaction of Mono- and Disubstituted Succinate Dianions with Tris(ethylenediamine)cobalt(III), *the Journal of the American Chemical Society*, Vol.101, No.15, pp.4221-4228, 1979

所属学会

日本化学会(学会誌「化学と工業」編集委員:1991-1993), アメリカ化学会, スイス化学会

地域情報科学科

畑 雅恭 教授

最終学歴 名古屋工業大学工学部電気工学科卒業

学位 工学博士（東京工業大学）

専門分野 情報通信, 電子工学, 環境電磁工学

研究概要 デジタル情報の信頼性(誤り訂正技術の高度化)と安全性(暗号化技術の開発と導入)を主体とした研究開発を行っている。無線によるデータの伝送において、高い誤りの発生を除去する新しい高次元トラス結び目符号の実用化研究を行っている。また大気環境電磁波の観測を通して、地殻活動を監視するシステムの研究を行っており、多地点の多元情報処理による地震の予測・予知システムの実現を目指している。また、量子情報理論の研究を行っている。

主要著書

T. S. Usuda, and M. Hata

On the realization of received quantum state control by unitary transformation in Quantum Communication, Computing and Measurement, O. Hirota, A.S. Holevo, and H.P. Yuen (Eds.), Plenum Press, New York, pp.127-137, (1997).

田村亮司, 古溝秀光, 坂本一生, 関清三, 畑雅恭

電子通信ハンドブック(第11編, 第四部門マイクロ波・ミリ波変復調回路), 電子通信学会, オーム社書店, pp.780-789, 1979年

柳沢健 編集, 神林紀嘉, 磯村興利, 雨宮正, 畑雅恭, 宮城弘, 日下部博己, 山田博, 安孫子健一

PLL(位相同期ループ)応用回路, 工学図書, pp.99-115, 1977年

畑雅恭, 古川計介

PLL-ICの使い方, 産報出版, pp.1-166, 1976年

主要論文

T.S. Usuda, I. Takumi, M. Hata, and O. Hirota,

Minimum error detection of classical linear code sending through a quantum channel, Physics Letters, vol. A256, pp.104-108, (1999).

T. Kudo, T.S. Usuda, I. Takumi, and M. Hata,

Application of quantum cryptography to an eavesdropping detectable data transmission, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Special Section on Information Theory and Its Applications, vol.E82-A, no.10, pp.2178-2184, (1999).

M. Hata, E. Yamaguchi, A. Ando and I. Takumi

High-Dimensional Discrete Torus Knot Code, Proc. 1998 IEEE Int'l Symp. on Information Theory(ISIT'98), p.18, 1998

M. Hata, I. Takumi, S. Yabashi and X. Tian

An Anomaly of ELF Band Vertical Magnetic Flux as a Precursor of Dome Formation at Unzen Volcano and its Model Analysis, The Special Issue of Phys. Earth Planet. Int.(PEPI) on Electromagnetic Effect of Earthquakes and Volcanoes, No.105, pp.271-277, 1998

黒田慎一, 山口榮作, 内匠逸, 畑雅恭

高次元超立体鎖符号の幾何学的な復号法と訂正限界, 電子情報通信学会論文誌 A, Vol.J80-A, No.12, pp.2145-2154, 1997

所属学会

電子情報通信学会, 情報理論とその応用学会, 電気学会, 米国 IEEE, 日本大気電気学会, 日本地震学会, 日本火山学会

受賞歴

東海電気通信監理局長表彰(1994), 電気通信普及財団(SCAT)(1991), 関東発明協会発明奨励賞(1984), 関東発明協会発明奨励賞(1975), 関東電気協会発明功績賞(1969)

地域情報科学科

安川 博 教授

最終学歴 静岡大学大学院工学研究科修士課程修了

学位 工学博士

専門分野 情報通信, デジタル信号処理, 音響音声情報処理

研究概要 情報通信とデジタル信号処理に関連する分野を中心に次の研究を行っている。

1. 情報を伝送した場合に生じる品質等の信号劣化を改善する効率的アルゴリズム並びに構成法の研究、具体的にはノイズキャンセリング、エコ-キャンセリング、シグナルエンハンスメント、信号復元等
2. 知的信号処理の通信・音響・測定をはじめとする各種分野への応用の研究、例えば適応デジタルフィルタ、遺伝的アルゴリズム、非線形信号処理等の研究
3. オブジェクト指向分散ネットワークシステムのアプリケーションの研究

主要著書

島田, 穂刈, 安川, 塩田

デジタル電子回路, 朝倉書店, 1999-04

H. Yasukawa, et al

Instrumentation and Measurement Technology and Applications, edited by E. M. Petriu, IEEE Press, 1998

安川博他共著

エコーキャンセラ技術, 辻井重男監修, 日本工業技術センター, 1986

主要論文

H. Yasukawa

Spectrum Broadening of Telephone Band Signals Using Multirate Processing for Speech Quality Enhancement, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E78-A, No.8, pp.996-998, 1995

H. Yasukawa and S. Shimada

An Acoustic Echo Canceller Using Sub-band Sampling and Decorrelation Methods, IEEE Transactions on Signal Processing, Vol.SP-41, No.2, pp.926-930, 1993

H. Yasukawa

An Acoustic Echo Canceller with Sub-band Noise Cancelling, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E75-A, No.11, pp.1516-1523, 1992

安川博

エコーキャンセラを用いた 2 線式双方向音声 AGC 増幅器, 電子情報通信学会論文誌 B-I, Vol.J75-B-I, No.11, pp.751-760, 1992

H. Yasukawa, M. Ogawa and M. Nishino

Echo Return Loss Required for Acoustic Echo Controller Based on Subjective Assessment, IEICE Transactions, Vol.E-74, No.4, pp.692-705, 1991

所属学会

電子情報通信学会, IEEE, 日本音響学会, 情報理論とその応用学会, EURASIP

地域情報科学科

横田 幸雄 教授

最終学歴 名古屋大学大学院理学研究科生物学第1類専攻博士課程単位取得退学

学位 理学博士（名古屋大学）

専門分野 動物発生学

研究概要 ウニ、ヒトデを主な材料として、系統発生、個体発生現象を細胞学的、生化学的技法を中心的な技法として解析している。卵黄タンパク質と発生様式、系統発生との関連性、卵黄タンパク質の分解機構とその生体内機能、細胞外マトリックス分子の解析、ウニでの骨形成を中心とした形態形成などを主要なテーマとして研究を行っている。

主要著書

中埜栄三, 溝口元, 横田幸雄

"ナポリ臨海実験所 去来した日本人科学者たち" 東海大学出版会, 1999

主要論文

Y. Yokota et al.

A protein of the basal lamina of the sea urchin. *Develop. Growth Differ.* 40, 527, 1998

Y. Yokota & S Amemiya

A putative vitellogenin in coelomic fluid of echinothurioid sea urchins, *Araeosoma owstoni* and *Asthenosoma ijimai*. *Comp. Biochem. Physiol.* 119A, 801, 1998

Y. Yokota et al.

Developmental expression of D-galactoside-binding lectin in sea urchin (*Anthocidaris crassispina*), *Exp. Cell Res.*, Vol.216, No.318, 1995

Y. Yokota et al.

Nectins in sea urchin eggs and embryos. *J. Mar. Biol. Ass. U. K.*, Vol.74, No.27, 1994

Y. Yokota et al.

Degradation of yolk proteins in sea urchin eggs and embryos. *Cell Differ.*, Vol.23, No.191, 1988

所属学会

日本動物学会, 日本発生生物学会, 日本生化学会, Marine Biological Association of the United Kingdom,

日伊生物学会

地域情報科学科

足立 整治 助教授

最終学歴 大阪大学大学院理学研究科(物理学専攻)博士課程修了

学位 理学博士(大阪大学)

専門分野 音響学, 楽音合成, 計算機シミュレーション

研究概要 楽器発音機構、発声機構に内在する非線形性と、その音合成への応用の研究を行っている。バイフォニック歌唱において、声道後部空間の共鳴がその発声機構に関与していることを、MRI 計測で得られた3次元声道形状を音響的に考察することにより示した。ジェット駆動型楽器の発音機構を解明するため、オブジェクト指向計算力学を用いた Navier-Stokes 方程式の数値シミュレーションを開始した。

主要論文

S. Adachi and M. Yamada

An acoustical study of sound production in biphonic singing, *Xøömij*, J. Acoust. Soc. Am. No.105, pp.2920-2932, 1999

S. Adachi

Time-domain modeling and computer simulation of an organ flue pipe, Int. Symposium on Musical Acoustics, Proceedings of the Institute of Acoustics No.19, pp.251-260, 1997

吉川茂, 足立整治

金管楽器奏者の唇はどのように振動しているか, 日本音響学会誌, No.52, pp.389-395, 1996

S. Adachi and M. Sato

Trumpet sound simulation using a two-dimensional lip vibration model, J. Acoust. Soc. Am. No.99, pp.1200-1209, 1996

S. Adachi and M. Sato

Time-domain simulation of sound production in brass instruments, J. Acoust. Soc. Am. No.97, pp.3850-3861, 1995

所属学会

Acoustical Society of America, 日本音響学会, 情報処理学会

受賞歴

日本音響学会第14回粟屋潔学術奨励賞

情報処理学会第45回全国大会奨励賞

地域情報科学科

太田 淳 助教授

最終学歴 早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻博士後期課程修了

学位 博士(工学)(早稲田大学)

専門分野 離散事象システム

研究概要 離散事象システムは計量の入らない変数で表されるシステムであり、非同期性、並行性を有する。ペトリネットは離散事象システムの有効なモデルの一つである。このペトリネットについて、可達性、活性をはじめとする解析問題を考察する。この結果を用いてペトリネットでモデル化されたシステムの制御問題を考察する。さらに時間を導入したモデルについて、その解析および応用について研究する。

主要論文

A. Ohta and T. Hisamura

On Some Analysis Properties of Petri Net Systems under the Earliest Firing Rule, IEICE Trans. Fundamentals, Vol.E79-A, No.11, pp.1791-1796, 1996

太田淳, 久村富持

単一アーク自由発火ペトリネットの記述能力, 計測自動制御学会論文集, Vol.30, No.10, pp.1269-1270, 1994

太田淳, 久村富持

共有資源付きタイム・ペトリネットの即時発火活性について, 計測自動制御学会論文集, Vol.30, No.6, pp.694-701, 1994

A. Ohta and T. Hisamura

POC net, a subclass of Petri nets, and its application to timed Petri nets, International Journal of Systems Science, Vol.24, No.3, pp.539-552, 1993

太田淳, 久村富持

マークグラフの可達問題の計算量, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J73-A, No.4, pp.863-868, 1990

所属学会

計測自動制御学会, 電子情報通信学会

受賞歴

計測自動制御学会学術奨励賞(1994)

地域情報科学科

奥田 隆史 助教授

最終学歴 豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程情報工学専攻修了

学位 博士(工学)(豊橋技術科学大学)

専門分野 通信トラヒック理論, システム制御理論, 情報システム応用

研究概要 (1)知的情報処理による多元情報通信システムのトラヒック性能評価・設計問題、(2)セルラ移動体通信網のトラヒックモデルの構築とチャネル配分問題、(3)仮想評価法による情報通信システム導入効果の評価、(4)う蝕発生メカニズムモデルの構築と口腔状態予測システムの開発、(5)アコモデーション形成を目的とする電子会議での戦略的操作回避メカニズムの理論的考察、(6)情報産業立地のための学校と地域社会の連携。

主要著書

奥田隆史

情報社会の光と影(吉田良生, 富川国弘, 和泉潤編), 成文堂, pp.105-156, 1997

主要論文

奥田隆史

米国の経営系学部・学科における情報リテラシーに関するカリキュラムについて, 日本教育工学学会論文集, Vol.21, No.3, pp.175-182, 1997

H. Akimaru, T. Okuda, and K. Nagai

A Simplified Performance Evaluation for Bursty Multiclass Traffic in ATM systems, IEEE Transactions on Communications, Vol.42, No.5, pp.2078-2083, 1994

奥田隆史, マニマラン・アンソニー, 田所義昭

ニューラルネットワークによる一般トラヒックモデル GI/G/s の性能評価, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J76-B-I, No.10, pp.730-733, 1993

T. Okuda, H. Akimaru, and F. Nakao

Analysis of Modified Erlangian Input Single Server Model Ek/G/1, IEEE Transactions on Communications, Vol.41, No.5, pp.667-669, 1993

奥田隆史, 中川昌幸, 秋丸春夫

ニューラルネットによる多元トラヒックの解析, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J75-B-I, No.11, pp.761-762, 1992

所属学会

電子情報通信学会, 計測自動制御学会, IEEE, OR 学会, 経営情報学会, 日本教育工学会

地域情報科学科

何 立風 助教授

最終学歴 名古屋工業大学大学院工学研究科電気情報工学専攻博士後期課程修了

学位 博士(工学)(名古屋工業大学)

専門分野 マルチエージェント協調計算, 定理証明, 画像処理

研究概要 分散環境におけるマルチエージェント協調計算問題についての研究にはエージェント間の知識交換(通信)、エージェント自身の知識更新およびエージェントに個性をもたらす手法などに興味を持つ。目標として、柔軟かつ自律なマルチエージェント協調行動システムを構築し、実際問題に応用したい。定理証明の研究には、前向きと後ろ向き証明手法の統合によって、効率化を図りたい。また、ファジィ推論、遺伝的アルゴリズムなど人工知能の手法を用いて、画像処理の応用も研究している。

主要論文

Lifeng He, Yuyan Chao, Tsuyoshi Nakamura and Hidenori Itoh

An Automated Reasoning System for Multi-Agent Environments, 人工知能学会論文誌, Vol. 11, No.2, pp.347-353, 1999

Lifeng He, Yuyan Chao, Tsuyoshi Nakamura and Hidenori Itoh

A Query Processing Method for Amalgamated Knowledge Bases, IEICE, Vol.E-82-D, No.8, pp.1180-1189, 1999

Lisong Wang, Lifeng He, Tsuyoshi Nakamura and Hidenori Itoh

Fuzzy Reasoning for Image Compression Using Adaptive Triangular Plane Patches, Fuzzy Sets and Systems, Vol.103, pp.277-284, 1999

Lifeng He, Yuyan Chao, Hirohisa Seki and Hidenori Itoh

A-SACHMORE: SATCHMORE with Availability Checking, New Generation Computing, Vol.16, pp.55-74, 1997

Lifeng He, Yuyan Chao, Shohey Kato, Hirohisa Seki and Hidenori Itoh

Implementing an Automated Reasoning System for Multi-Agent Knowledge and Time, LNAI, Vol.1286, pp.152-165, 1997

所属学会

情報処理学会, 電子情報通信学会

地域情報科学科

Si Si 助教授

最終学歴 名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了

学位 理学博士（名古屋大学）

専門分野 確率論、解析学

研究概要 確率と関数解析学とを基礎におく確率解析等およびその情報理論への展開を目標として研究を続けている。そこでは、確率変数の素子となるホワイトノイズをとりあげ、その非線形な関数の解析が基本となる。そのような関数の系で時間をパラメータとする確率過程については innovation の構成を主な手法とする。これを一般化した確率場は曲線や、曲面等をパラメータにもち、確率過程の場合にくらべて、より多くの情報を伝えるため興味のある研究対象であり、最近はこの方面の研究に重点をおいている。これに対しては確率変分を構成すること、さらにそれから innovation を取り出すことにより場の確率的な行動を明らかにすることが目標である。

主要論文

Si Si

A variation formula for some random fields, an analogy of Ito's formula, Infinite Dimensional Analysis, Quantum Probability and Related Topics, Vol 2- No.2, pp.305-313, 1999

T. Hida and Si Si

Innovations for random fields, Infinite Dimensional harmonic Analysis, Quantum Probability and Related Topics, Vol.1, No.4, pp.499-509, 1998

T. Hida and Si Si

Stochastic variational equations and innovations for random fields, Infinite Dimensional harmonic Analysis, Transactions of a German-Japanese Symposium, Tübingen, pp.86-93, 1996

Si Si

A note on Lévy's Brownian motion, Nagoya Math. Jour., Vol .108, pp.121-132, 1987

Si Si

A note on Lévy's Brownian motion II, Nagoya Math. Jour., Vol.114, pp.165-172, 1989

所属学会

日本数学会, ミャンマー数学会

地域情報科学科

鈴木 康弘 助教授

最終学歴 東京大学大学院理学系研究科地理学専攻博士課程修了

学位 博士(理学)(東京大学)

専門分野 自然地理学, 活断層地震防災研究, 地域環境解析

研究概要 「地震発生予測を目指した地形地質学的手法による活断層研究」や「被害軽減にむけた地震防災研究」などを、国内では阪神淡路地域や愛知・三重県、プレート境界の可能性のある日本海東縁地域などで、また国外では、極東サハリン・韓国・台湾等で実施している。また、情報科学部発足以降、写真計測およびリモセン技術を応用して森林成長を解析する産学官共同研究を主導した。今後は、GIS(地理情報システム)をベースに、「環境共生」議論に資する新たな環境予測シミュレーションシステムの構築を目指す。

主要著書

渡辺満久, 鈴木康弘

活断層地形判読 - 空中写真による活断層の認定 -, 書籍版 + CD-ROM 版, 古今書院, 1999

太田陽子, 島崎邦彦ほか

古地震を探る, 古今書院, 1995

活断層研究会

[新編] 日本の活断層, 東大出版会, 1991

主要論文

鈴木康弘, 中田 高, 島崎邦彦

地震発生長期予測のための地形学 / 地質学的活断層調査研究の新展開 地盤工学会誌, Vol.47, No.2, pp.5-8, 1999

鈴木康弘, 渡辺満久, 堤浩之

サハリンの活断層と極東テクトニクス, 月刊地球, No.8, pp.505-509, 1998

中田高, 島崎邦彦, 鈴木康弘, 佃栄吉

活断層はどこから割れ始めるのか?, 地学雑誌, Vol.107, No.4, pp.512-528, 1998

鈴木康弘

防災概念の変革期における地理学の役割, 地理学評論, Vol.70, No.12, pp.818-823, 1997

鈴木康弘, 渡辺満久, 吾妻崇, 岡田篤正

六甲 - 淡路島活断層系と 1995 年兵庫県南部地震 - 変動地形学的・古地震学的研究と課題 -, 地理学評論, Vol.69, No.7, pp.469-482, 1996

所属学会

日本地震学会, 日本地理学会, 日本第四紀学会, 日本地形学連合, 地盤工学会, 土木学会, 日本沙漠学会, 日本環境共生学会, 日本不動産学会, 地理情報システム学会

地域情報科学科

戸田 尚宏 助教授

最終学歴 豊橋技術科学大学研究科博士課程修了

学位 工学博士（豊橋技術科学大学）

専門分野 情報工学（システム同定論）

研究概要 脳に代表される生体システムや、社会・経済機構、環境システムなどを大規模な情報システムとしてとらえ、その振舞いを定量的に記述するためには、仮説としてのモデル構築を行う必要がある。さらにそうしたモデルにおいて、定数などのパラメータが未知の場合には、統計的な手法に基づくシステム同定がなされる。従来の線形モデルを基礎とした解析においてはシステム同定論はほぼ確立されていると言って良い。しかしながら、現実の問題においては線形性を仮定できない対象を扱う必要性は増大の一途を辿っている。こうした背景のもと、汎用的な非線形モデルとして、多項式を基礎とした表現形式、および生物の神経系を模したニューラルネットワークに関し、その統計的性質の解析、モデルの特徴の表現法、パラメータの推定法に関する体系的な方法論を展開する事で、より広範な対象に関するシステム同定法を提供する事を目指す。

主要著書

臼井支朗編著

信号解析（第4章）、オーム社、1998

主要論文

戸田尚宏, 林則昌, 臼井支朗

“非線形自己回帰モデルによる高次スペクトル推定における計算記憶容量削減のための一手法”, 電子情報通信学会論文誌, J81-A, 1, pp.142-151 (1998).

早坂太一, 萩原克幸, 戸田尚宏, 臼井支朗

“正規直交性を満たす離散基底可変型関数表現を用いた回帰モデルにおける最小2乗誤差と予測2乗誤差について”, 日本神経回路学会誌, 4, 1, pp.18-26 (1997).

早坂太一, 萩原克幸, 戸田尚宏, 臼井支朗

“ステップ型の基底関数を用いた回帰モデルの統計的性質について”, 日本神経回路学会誌, 4, 2, pp.74-82 (1997).

Naohiro Toda and Shiro Usui

“Estimation of higher-order spectra using a nonlinear autoregressive model based on a layered neural network”, Electronics and Communications in Japan, 80, 5, pp.75-84 (1997).

Usui, S., Hirata, Y., Hagiwara, K. and Toda, N.

“An analysis of carp cerebellar EEG under the microgravitational environment”, Systems and Computers in Japan, 27, 3, pp.71-83 (1996).

所属学会

電子情報通信学会、計測自動制御学会、日本宇宙航空環境医学会、International Neural Network Society、日本科学哲学会

受賞歴

平成8年度電子情報通信学会論文賞

地域情報科学科

木村 圭司 助手

最終学歴 東京大学大学院理学系研究科地理学専攻博士課程修了

学位 博士(理学・東京大学)

専門分野 地理情報システム(GIS), 気候学, 地域情報科学

研究概要 北半球高緯度および山岳地帯といった寒冷地における気候変動に関する研究をもとに,地球温暖化と植生に対するインパクトの研究をすすめている。また,最近では,地理情報システムの技法をを使って身近な森林の成長に関するシミュレーションを構築している。研究を進める上で,データ解析はもちろん,現地観測などによる一次データの取得を行うことにより,身近な自然環境について,より正確な現象解析を行っている。

主要著書

田辺 裕 監修, 荒井 良雄 訳

『図説大百科 世界の地理 22 日本・朝鮮半島』. 朝倉書店.(翻訳箇所: pp3070-3079), 1998.

主要論文

橋本 雄一・木村 圭司

十勝平野の農業的土地利用と自然条件の関連 - ベクターデータとラスターデータの統合に関する考察 - .GIS-理論と応用. **5**, 19-28, 1997.

木村 圭司

シベリア高気圧の季節変化と季節区分.地理学評論.70A,526-541,1997.

Fukuyo, S., M. Kurihara, I. Nakashinden, K. Kimura, Y. Iijima, Y. Kobayashi, T. Masuzawa, S. Yamamoto, M. Morimoto, T. Kouyama, S. Kobayashi, T. Yamamoto, K. Mizuno, and H. Machida

Effects of wind shield on phenology and growth of alpine plants in Mount Kisokomagatake central Japan. *Proc. NIPR Symp. Polar Biol.*, **11**, 147-158,1998.

Iguchi, J. H., H. Ohmori, A. Ohmura, K. Suzuki, K. Furuta, H. Yagi, T. Ohta, I. Nakashinden, K. Kimura, and T. Sugai

Experimental studies on vegetation changes due to climate warming at the side of Mt. Norikura, Central Japan -A preliminary report-. *Bull. Dept. Geogr. Univ. of Tokyo*, **30**, 17-26,1998.

木村 圭司

面積を指標としたシベリア高気圧の年々変化と東西差.地理学評論, **73A**, in printing,2000.

所属学会

日本地理学会, 地理情報システム学会, 日本気象学会, 人文地理学会, American Geophysical Union

地域情報科学科

小濱 剛 助手

最終学歴 豊橋技術科学大学大学院博士後期課程システム情報工学専攻修了

学位 博士(工学)(豊橋技術科学大学)

専門分野 視覚情報処理, 視覚認知科学

研究概要 眼球運動と密接に関係する視覚的注意は、大脳視覚情報処理系のきわめて高度な情報処理機能として注目されている。当面の研究課題として、不随意に生じる固視時眼球運動(固視微動)を測定することにより、眼球運動の解析に基づいた視覚的注意の客観的測定を目指す。さらに得られたデータに基づいた固視微動のモデリングにより、固視のメカニズムに視覚的注意がいかに作用しているのかを検討し、工学や医学への応用の可能性を探る。

主要論文

小濱剛, 新開憲, 臼井支朗

マイクロサッカーの解析に基づく視覚的注意の定量的測定の試み, 映像情報メディア学会誌, Vol.52, No.4, pp.571-576, 1998

小濱剛, 新開憲, 斎藤剛, 山田光穂, 臼井支朗, 吉田辰夫

漢字認識課題中におけるサッカーの特性の分析, 映像情報メディア学会誌, Vol.51, No.8, pp.1308-1318, 1997

小濱剛, 斎藤剛, 新開憲, 山田光穂, 臼井支朗, 吉田辰夫

サッカー前後の視覚情報の統合過程における注視位置と空間的注意の分析, テレビジョン学会論文誌, Vol.50, No.11, pp.1781-1789, 1996

小濱剛, 波多野友之, 吉田辰夫

視覚系に取り入れられる情報と注視点の位置との関係の解析, 電子情報通信学会論文誌, D-II, J79-D-II, No.1, pp.101-110, 1996

所属学会

映像情報メディア学会

地域情報科学科

鈴木 賢治 助手

最終学歴 名城大学大学院工学研究科電気電子工学専攻修士課程修了

学位 修士(工学)(名城大学)

専門分野 医用画像処理, 医用画像認識, ニューラルネットワーク

研究概要 長年の経験と多くの医学知識に支えられた診断医のもつ臨床経験を積極的に取り入れ、柔軟かつ定量的に高度医療を支援するシステムの実現を目指し研究を行っている。最近、医療現場に診断情報の豊かな画像を提供するため、情報源の性質及びシステムの特性に適応した情報処理を実現する知的画像処理の研究を行うと同時に、この処理をリアルタイムで実現するための超並列高速演算処理プロセッサの開発を行っている。

主要論文

鈴木賢治, 堀場勇夫, 杉江昇

ニューラルフィルタの簡約構造決定手法, 情報処理学会論文誌, Vol.40, No.12, pp.4226-4238, 1999

鈴木賢治, 林達也, 池田重之, 堀場勇夫, 杉江昇, 南木道生

ニューラルフィルタを用いた医用低線量 X 線動画像の画質改善, 電気学会論文誌 C, Vol.119-C, No.11, pp.1383-1391, 1999

Kenji Suzuki, Isao Horiba and Noboru Sugie

Efficient Approximation of a Neural Filter for Quantum Noise Removal in X-ray Images, in Neural Networks for Signal Processing IX, Y. H. Hu et al. Eds., pp.370-379, IEEE, New York, 1999

Kenji Suzuki, Isao Horiba and Noboru Sugie

Designing the Optimal Structure of a Neural Filter, in Neural Networks for Signal Processing VIII, M. Niranjan et al. Eds., pp. 323-332, IEEE, New York, 1998

鈴木賢治, 堀場勇夫, 池谷和夫, 南木道生

ニューラルネットを用いた冠動脈 DSA における狭窄率認識, 電子情報通信学会論文誌 (D-II), Vol.J77-D-II, No.9, pp.1910-1916, 1994

所属学会

IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers), 電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, 日本神経回路学会, 日本循環器学会

5 学部外との交流

5 . 1 学術講演会 (講演名, 開催日, 開催場所, 講演者, 講演題目, 参加人数)

- ・(財)科学技術交流財団メディアフォーラム, 1月20日, 栄町電通ホール, 畑雅恭, 情報セキュリティ, 100名
- ・1999年度日本海洋学会春季大会, 3月27日~31日, 東京水産大学,
大林由美子・鈴木光次・半田暢彦・野尻幸宏,
北太平洋亜寒帯域における植物プランクトン群集構造, 550名
- ・1999年度日本地球化学会年会, 9月29日~10月1日, 工業技術院地質調査所,
濱中純子・沢田健・濱健夫・田上英一郎・半田暢彦,
13C-GC-MS法による相模湾有光層におけるアルケノンの生産・鉛直輸送過程の研究, 450名
- ・愛知県立大学学術講演会, 11月17日, 学術文化交流センター, Uwe Trautwein,
Measurement and Modeling of Time-Variant Directional Mobile Radio Channels, 100名
- ・愛知県立大学情報科学部学術講演会(電子情報通信学会東海支部共催), 11月17日, 学術文化交流センター,
今村賢治 モバイル通信の現状と将来動向, 100名

5 . 2 公開講座

愛知県立大学公開講座「21世紀の愛知 未来派!サイエンス教室」

1時限目, 7月10日, 13:00-14:30, 畑雅添・田学軍:「地球(Earth)」

2時限目, 7月10日, 15:00-16:30, 神山齊己・小濱剛:「身体(Body)」

3時限目, 7月24日, 13:00-14:30, 山本晋一郎・鈴木賢治:「情報(Software)」

4時限目, 7月24日, 15:00-16:30, 小栗宏次:「通信(Communication)」

主会場:愛知県立大学学術文化交流センター

サテライト会場:岡崎市立城北中学校

5 . 3 シンポジウム

21世紀初頭の海洋地球化学の研究:海洋化学と地球化学の今後

9月29日, 於 工業技術院地質調査所

講演題目:「21世紀初頭の海洋化学と地球化学研究の課題」半田暢彦 情報科学部学部長

参加者 150名

5 . 4 研究会 (研究会名, 開催日, 開催場所, 講演者, 講演題目, 参加人数)

- ・ 第4回地域環境 GIS 研究会, 1月28日, 玉野総合コンサルタント会議室, 森林成長計測技術, 25名
- ・ 計測自動制御学会離散事象システム研究会, 5月27日, 学術文化交流センター
- ・ 電子情報通信学会コンカレント工学研究会, 5月28日, 学術文化交流センター,
離散事象システム理論と応用および一般, 80名
- ・ 第5回地域環境 GIS 研究会, 6月11日, 株式会社創建会議室, 平成10年度成果報告, 25名
- ・ 愛知県産業利用インターネット研究会, 7月8日, 学術文化交流センター, インターネット産業利用研究, 15名
- ・ 情報処理学会, モーバイルコンピューティング研究会および高度道路交通システム研究グループ,
10月7日, 学術文化交流センター, ITSとモーバイルコンピューティング, 参加者約50名
- ・ 第6回地域環境 GIS 研究会, 11月17日, 株式会社中日本航空会議室, 森林成長予測シミュレーション,
20名
- ・ 工学・理学における不規則変動現象の数理的解析理論と応用 研究会, 12月9日~10日, 文部省統計
数理研究所, 30名

6 研究成果

共同研究については、情報科学部教員に下線が引いてあります。教員ごとの配列になっているので、複数の情報科学部教員が関わる研究は重複して掲載されています。

6.1 著書

N. Handa, E. Tanoue and T. Hama (editors)

Biogeochemistry of Marine Organic Matter, TERRAPUB-KLUWER, 500pp

半田暢彦, 和田英太郎, 安成哲三

水・物質循環系の変化 (分担題目: 地球の物質循環と生態システムの変動), 岩波書店

半田暢彦

測地学から地球システム学へ (分担課題: 地球圏・生物圏国際協同研究), 測地学審議会編, 文部省

小栗宏次, 他

ME用語辞典, 日本ME学会編, コロナ社

T. Takahasi, T. Naruse

From Play Recognition to Good Plays Detection - Reviewing RoboCup 97 teams from Logfile -, In Lecture Notes in Artificial Intelligence 1604, Springer Verlag

S. Usui, Y. Kamiyama, H. Ishii, T. Ogura and A. Ishihara

Ionic current model of the outer retinal cells, Modeling in the Neurosciences (Roman R. Poznanski ed., Harwood Academic Publishers), pp.293-319

井手口哲夫, 他

(社)電子情報通信学会編, 改訂 電子情報通信用語辞典, コロナ社

島田, 穂刈, 安川博, 塩田

デジタル電子回路, 朝倉書店

中埜栄三, 溝口元, 横田幸雄 (編著)

ナポリ臨海実験所 去来した日本人科学者, 東海大学出版会

渡辺満久, 鈴木康弘

活断層地形判読 - 空中写真による活断層の認定 -, 古今書院

渡辺満久, 鈴木康弘

活断層地形判読 CD-ROM 版, 古今書院

戸田尚宏, 他

ME用語辞典, 日本ME学会編, コロナ社

6 . 2 学術論文

Sohrin, Y., S. Iwamoto, M. Matsui, H. Ohba, E. Nakayama, N. Handa, K. Suzuki and M. Ishii

The distribution of Fe in the Australian sector of the Southern Ocean. Deep-Sea Res.47, pp.55-84

Haykawa, H. and N. Handa

Vertical and horizontal fluxes of chemical materials in the Japan Trench area off Central Honsyu Island of Japan. In: Biogeochem.of Marine Orgnic Matter, eds. by Handa, N., E. Tanoue and T. Hama, Terrapab-Kluwer, Amsterdam (in press)

Ishiwatari, R., K. Yamada, K. Matsumoto, H. Naraoka, S. Yamamoto and N. Handa

Source of organic matter in sinking particles in the Japan Trench:Molecular composition and carbon isotope analyses. In: Biogeochem.of Marine Orgnic Matter, eds. by Handa, N., E. Tanoue and T. Hama, Terrapab-Kluwer, Amsterdam (in press)

Nakatsuka, T., A. Hosokawa, N. Handa, E. Matsumoto and T. Masuzawa

14C budget of sinking particulate organic matter in Japan Trench:a new approach to estimate the contribution from resuspended particles in deep matter column. In: Biogeochem.of Marine Orgnic Matter, eds. by Handa, N., E. Tanoue and T. Hama, Terrapab-Kluwer, Amsterdam (in press)

Sawada, K., N. Handa and H. Okada

Coccolithophorids revealed from long-chain alkenones and allylalkenoates in the northwestern North Pacific Off Japan, In: Biogeochem.of Marine Orgnic Matter, eds. by Handa, N., E. Tanoue and T. Hama, Terrapab-Kluwer, Amsterdam (in press)

Goes, Q. I. and N. Handa

The 13C tracer-GC-MS methodology for estimating the production rates of organic compounds in phytoplankton. Pelagic Ecology Methods ed. By D.V. Subba Rao, a serial volume of the International Association of Physical Sciences of the Ocean (in press)

A.Ohta, K. Tsuji and T.Hisamura

On Liveness of Extended Partially Orderd Condition Nets, Transactions of the IEICE of Japan, Vol.E82-A, No.11, pp.2576-257

小林新, 岡林繁, 堀場勇夫, 杉江昇, 工藤博章, 山村毅, 大西昇

視覚系における動的な群化過程のニューラルネットワークモデル, 映像情報メディア学会誌, Vol.53, No.1, pp.135-141

鈴木賢治, 林達也, 池田重之, 堀場勇夫, 杉江昇, 南木道生

ニューラルフィルタを用いた医用低線量 X 線動画像の画質改善, 電気学会論文誌 C, Vol. 119-C, No. 11, pp.1383-1391

鈴木賢治, 堀場勇夫, 杉江昇

ニューラルフィルタの簡約構造決定手法, 情報処理学会論文誌, Vol. 40, No. 12, pp.4226-4238

渡邊教博

ごみ燃焼制御系におけるカオスの時系列データの解析, 化学工学論文集, Vol. 25, No. 4, pp.539-542

山本勝, 横山淳一, 永井昌寛

保健・医療・福祉施設関係者の意識調査分析 (第3報), 36(4), pp.55-64

山本勝, 永井昌寛, 横山淳一

地域保健従事者の研修意識並びに研修システムの開発に関する考察, 36(3), pp.49-58

山本勝, 横山淳一, 永井昌寛

地域医療システムの開発とシステム・マネジメント, オペレーションズ・リサーチ, 1999(7), pp.17-21

山本勝, 横山淳一, 永井昌寛, 津田光徳, 沼澤勝美

医師会総合情報ネットワークシステムの構築に関する研究 -医師会相互間における情報化意識調査分析-, 医療情報学, 19 (1) , pp.73-84

T. Maruta

A characterization of some minihypers and its application to linear codes, Geometriae Dedicata 74, pp.305-311.

I.N. Landjev and T. Maruta

On the minimum length of quaternary linear codes of dimension five, Discrete Mathematics 202, pp.145-161.

T. Maruta

On the minimum length of q-ary linear codes of dimension four, Discrete Mathematics 208/209, pp.427-435.

加藤邦人, 遠藤利生, 村上和人, 鳥生隆, 輿水大和

エッジ点対と選択ブロックの多重選択による高速化 Hough 変換アルゴリズム MRHT の提案, 電気学会論文誌 D, Vol.119-D, No.1, pp.58-66

小林新, 岡林繁, 堀場勇夫, 杉江昇, 工藤博章, 山村毅, 大西昇

視覚系における動的な群化過程のニューラルネットワークモデル", 映像情報メディア学会誌, Vol.53, No.1, pp.135-141

玉木徹, 山村毅, 大西昇

画像系列からの人物領域の抽出, 電気学会論文誌 C, Vol.119-C, No.1, pp.37-43

吉田敦, 山本晋一郎, 阿草清滋

抽象スレッドに基づくソースプログラムの依存解析の枠組の提案, 日本ソフトウェア科学会コンピュータソフトウェア, Vol.16, No.1, pp.46-56

Hachisu Yoshinari, Shinichirou Yamamoto, Agusa Kiyoshi

Some Methods for Specializing Object-Oriented Programs, 情報処理学会 論文誌 Vol.40, No.3, pp.1346-1349

蜂巢吉成, 山本晋一郎, 阿草清滋

オブジェクト指向言語のための細粒度システム依存グラフ, 情報処理学会 論文誌 Vol.40, No.4, pp.1851-1860

Hachisu Yoshinari, Shinichirou Yamamoto, Agusa Kiyoshi

A CASE Tool Platform for an Object Oriented Language, IEICE Trans. on Information and Systems, Vol.E82-D, No.5, pp.997-984

水野忠則, 井手口哲夫

21 世紀の携帯型情報端末, 情報処理学会誌, Vol.40, No.1, pp.42-46

坂下善彦, 井手口哲夫, 佐藤文明, 水野忠則

役割に基づくアプリケーションの振舞い制御, 電子情報通信学会論文誌 B, Vol.J28-B, No.5, pp.972-980

矢部正行, 藤井照子, 厚井裕司, 井手口哲夫, 馬場義昌, 白鳥則郎

LAN 上の予約データに対して良好な通信品質を提供する帯域予約型データ転送プロトコルの提案, 電子情報通信論文誌 B, Vol.J28-B, No.12, pp.2215-2224

H.Mineno, S.Ishihara, K.ohta, M.Aono, T.Ideguchi and T.Mizuno

Multiple paths protocol for a cluster type network, International Journal of Communication Systems, Vol.12, pp.391-403

今里哲久

水産系大学の練習船と若手海洋研究者の育成, 月刊海洋, 31, 1, pp.42 - 44.

根田昌典, 川口盛平, 豊田美帆, 富田裕之, 今里哲久, 久保田雅久

インド洋の大気海洋相互作用, 月刊海洋, 31, 9, pp.587 - 594.

N.IMASATO, T.KOBAYASHI and S.FUJIO

Study of water motion at the dissolved oxygen minimum layer and local oxygen consumption rate from the Lagrangian view point, Jour. Oceanography, (in press).

- T.S.Usuda, I.Takumi, M.Hata, and O.Hirota
Minimum error detection of classical linear code sending through a quantum channel, Physics Letters, Vol.A256, pp.104-108,(1999.5).
- T.Kudo, T.S.Usuda, I.Takumi, and M.Hata
Application of quantum cryptography to an eavesdropping detectable data transmission, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Special Section on Information and its Applications, Vol.E82-A, No.10, pp.2178-2184
- S.Usami, T.S.Usuda, I.Takumi, and M.Hata
A simplification algorithm for calculation of the mutual information by quantum combined measurement, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Special Section on Information Theory and its Applications, Vol.E82-A, No.10, pp.2185-2190
- S. Adachi and M. Yamada
An acoustical study of sound production in biphonic singing, Xoomij, J. Acoust. Soc. Am. No.105 pp.2920-2932
- A. Ohta and T. Hisamura
On Liveness of Time POC Nets with the Static Fair Condition, IEICE Trans. Fundamentals, Vol.E82-A, No.8, pp.1648-1655
- A. Ohta, K. Tsuji and T. Hisamura
On Liveness Extended Partially Ordered Condition Nets, IEICE Trans. Fundamentals, Vol.E82-A, No.11, pp.2576-2578
- 中村剛士, 何立風, 伊藤英則
SRAMCs: 細線化骨格の歪み補正手法について, 情報処理学会論文誌, Vol. 40, No.2, pp.768-771
- 真野淳治, 江野脇宏, 中村剛士, 何立風, 伊藤英則
運筆状態規則を用いた平仮名毛筆文字生成について, ファジィ学会誌, Vol.11, No.1, pp.140-148
- Lisong Wang, Lifeng He, Atsuko Mutoh, Tsuyosi Nakamura and Hidenori Itoh
Fuzzy reasoning for image compression using adaptive triangular plane patches, Fuzzy Sets and Systems, Vol.103, pp.277-284
- 何立風, 王立松, 巢宇燕, 中村剛士, 伊藤英則
F-TTP: ファジィ推論を用いた TPP 画像圧縮法, ファジィ学会誌, Vol.11, No.2, pp.347-353
- Lifeng He, Yuyan Chao, Tsuyoshi Nakamura, Hiroshisa Seki and Hidenori Itoh
An Automated Reasoning System for Multi-Agent Environments, 人工知能学会論文誌, Vol.14, No.3, pp.143-151
- Lisong Wang, Lifeng He, Tsuyoshi Nakamura, Atsuko Mutoh and Hidenori Itoh
Calligraphy Generation Using Deformable Contours, IEICE TRANS. INF. & SYST., Vol.E82-D, No.6, pp.1066-1073
- Lifeng He, Yuyan Chao, Tsuyoshi Nakamura, Hiroshisa Seki and Hidenori Itoh
A Query Processing Method for Amalgamated Knowledge Databases", IEICE TRANS. INF. & SYST., Vol.E82-D, No.8, pp.1180-1189
- 渡辺淳, 山田晃嗣, 中村剛士, 何立風, 伊藤英則
ファジィ・スプライン関数近似による手話テキスト作成の効率化について", 情報処理学会論文誌, Vol.40, No.9, pp.3624-3627
- T. Hida and Si Si
Innovation for random fields, Infinite Dimensional Analysis, Quantum Probability and Related Topics, Vol.1, No.4, pp.409-509 (with T. Hida).

Si Si

A variation formula for some random fields, an analogy of Ito's formula, Infinite Dimensional Analysis, Quantum Probability and Related Topics, Vol. 2, No.2, pp.305-313

Si Si

Historical view and some development of variational calculus applicable to random fields, Volterra Center Series N 379, Volterra Center, Roma, pp.1-12

Si Si

Topics on random fields, Proceedings of the First International Conference on Quantum Information, World Scientific eds T. Hida & K. Saito, pp.179-194.

鈴木康弘, 中田高, 島崎邦彦

地震発生長期予測のための地形学 / 地質学的活断層研究の新展開, 地盤工学会誌, 47 巻, 2 号, pp.5-8

J.Kyung, K.Lee, A.Okada, M.Watanabe, Y.Suzuki and K.Takemura

Study of Fault Characteristics by Trench Survey in the Sangchon-ri Area in the Southern Part of Yangsan Fault, Southeastern Korea, The Journal of the Korean Earth Science Society, Vol.20, No.1, pp.101-110

岡田篤正, 竹村恵二, 渡辺満久, 鈴木康弘, 慶在福, 蔡鍾勲, 谷口薫, 石山達也, 川畑大作, 金田平太郎, 成瀬敏郎

韓国慶州市葛谷里における蔚山(活)断層のトレンチ調査, 地学雑誌, Vol.108, No.3. pp.276-288

中田高, 隈元崇, 活断層マップワーキンググループ(鈴木康弘)

日本の活断層詳細GISマップからわかること, 月刊地球. 21 巻, 10 号, pp.687-693

堺浩之, 山地一禎, 平田豊, 戸田尚宏, 臼井支朗

瞳孔・眼球運動計測システムの開発と空間識失調評価への応用, 電気学会論文誌 C, 119-C, 1, pp.70-76

木村圭司

シベリア高気圧の季節変化と年々変動, 東京大学大学院 理学系研究科地理学教室 平成 10 年度博士論文

鈴木賢治, 林達也, 池田重之, 堀場勇夫, 杉江昇, 南木道生

ニューラルフィルタを用いた医用低線量 X 線動画像の画質改善, 電気学会論文誌 C, Vol. 119-C, No. 11, pp.1383-1391

鈴木賢治, 堀場勇夫, 杉江昇, ニューラルフィルタの簡約構造決定手法, 情報処理学会論文誌, Vol. 40, No. 12, pp.4226-4238

6 . 3 国際会議発表論文

Tatsuya Shirai, Koji Oguri, Akira Iwata

A method of an effective learning for BP network from the data which contain well-known or especial data, The International Symposium on Medical Informatics and Fuzzy Technology, Proceedings of MIF'99, Vol.1, pp.263-270, Hanoi, Vietnam, August

Toshitaka Sugimoto, Koji Oguri, Akira Iwata

Evaluation on the relation between emotional tastes and artificial tests by a neural network, The International Symposium on Medical Informatics and Fuzzy Technology, Proceedings of MIF'99, Vol.1, pp.234-240, Hanoi, Vietnam, August

K. Tsuji

Structural Properties for Transformation of Extended Marked Graphs, IEEE International Symposium on Circuits and Systems, Florida, 6月

A. Ohta and K. Tsuji

On Liveness of Timed Extended Partially Orderd Condition Net under the Earliest Firing Rule, Joint Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications, Niigata, 6月

T. Naruse, T. Takahasi, K. Ishiwata, K. Murakami, Y. Nagasaka, Y. Mori

OWARI-BITO Team Description, RoboCup 99, Team descriptions, Stockholm, 1999.7

K. Suzuki, I. Horiba, N. Sugie

Efficient Approximation of a Neural Filter for Quantum Noise Removal in X-Ray Images, In Neural Networks for Signal Processing IX, pp. 370-379, IEEE, New York, Aug.

M. Yamada, K. Ueda, I. Horiba, N. Sugie

Discrimination of the Road Condition toward Understanding of Vehicle Driving Environments, Proceedings of Conference on Intelligent Transportation Systems (ITSC'99), pp20-24, IEEE, Tokyo, Sep.

K. Suzuki, I. Horiba, and N. Sugie

An Approach to Synthesize Filters with Reduced Structures Using a Neural Network, Proc. 2nd Int. Conf. Quantum Information, Nagaya, Japan, World Scientific, Mar.

Y. Kamiyama, T. Aoyama and S. Usui

Analysis of the spatio-temporal characteristics of the rod photoreceptors by the ionic current model, Society for Neuroscience, 575.14, Miami, October

T. Maruta

The nonexistence of some quaternary linear codes of dimension five, Third Shanghai Conference on Designs, Codes and Geometries, 上海交通大学, 5月

Masafumi Tominaga, Kunihito Kato, Kazuhito Murakami, Hiroyasu Koshimizu

Simulating Askant Glance Camera Vision System by Means of Extended Hough Transform, FCV'99(Frontiers of Computer Vision), Proceedings of FCV'99, Taegu(Korea), Jan.

Kunihito Kato, Toshio Endo, Kazuhito Murakami, Takashi Toriu, Hiroyasu Koshimizu

Proposal of High-speed Hough Transform Algorithm MRHT, QCAV'99, Proceedings of QCAV'99, Trois-Rivieres (Canada), May

Kazuhito Murakami, Hiroyasu Koshimizu, Masafumi Tominaga

Facial Caricaturing System with Concurrent Feedback Channel from Gallery, QCAV'99, Proceedings of QCAV'99, Trois-Rivieres (Canada), May

Tadashi Naruse, Kazuhito Murakami, et al

Owari-bito Team description, RoboCup'99, RoboCup'99 Robot world cup soccer games and conference Team Description, Stockholm (Sweden), July

- Takayuki Fujiwara, Takeshi Nishihara, Masafumi Tominaga, Kunihito Kato, Kazuhito Murakami, Hiroyasu Koshimizu
On the Detection of Feature Points of 3D Facial Image and Its Application to 3D Facial Caricature, 3DIM'99(Second International Conference on 3-D Digital Imaging and Modeling), Proceedings of 3DIM'99, Ottawa (Canada), Oct.
- Masafumi Tominaga, Takayuki Fujiwara, Hiroyasu Koshimizu, Kazuhito Murakami
On KANSEI Facial Image Processing for Computerized Facial Caricaturing System PICASSO, SMC'99, Proceedings of SMC'99, Tokyo (Japan), Oct.
- Ohnishi,N., Iwase,M., Yamamura,T., Tanaka,T.
On-line Elimination of Reflected Images to Generate High Quality Images, Proceedings of SPIE Conference on Visual Communications and Image Processing '99, San Jose, 1
- Tamaki,T., Yamamura,T., Ohnishi,N.
Image Segmentation and Object Extraction Based on Geometric Features, Proceedings of SPIE Conference on Visual Communications and Image Processing '99, San Jose, 1
- Liu,Y., Yamamura,T., Tanaka,T., Ohnishi,N.
Distortion Rectification and Discrimination of Signboards in a Scene Image for Robot Navigation, Proceedings of the International Conference on Imaging Science, Systems, and Technology, Las Vegas, 6
- Kudo, H., Yamamura,T., Ohnishi,N., Kobayashi,S., Sugie,N.
A Neural Network Model of Dynamically Fluctuating Perception of Necker Cube as well as Dot Patterns, Proceedings of 16th National Conference on Artificial Intelligence, Orlando, 7
- Kudo,H., Saito,M., Yamamura,T., Ohnishi,N.
Measurement of the Ability in Monocular Depth Perception during Gazing at Near Visual Target - effect of the ocular parallax cue -, Proceedings of 1999 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, Tokyo, 10
- Yamamura,T., Kudo,H., Ohnishi,N., Sugie,N.
Modeling Dynamical Grouping Process, Proceedings of 1999 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, Tokyo, 10
- Liu,Y., Yamamura,T., Tanaka,T., Ohnishi,N.
Character-Based Mobile Robot Navigation, Proceedings of the 1999 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems, Kyongju, 10
- Fukuyasu Naoki, Yamamoto Shinichirou and Agusa Kiyoshi
An Evolution Framework based on Fine Grained Repository, International Workshop on Principles of Software Evolution, IWPSE99, Fukuoka, pp.43-47 (1999/7)
- X. Tian, H. Yasukawa, T. Ideguchi, T. Okuda, S. Adachi and M. Hata
A Study on CORBA-based Distributed Observation System of Seismic Electromagnetic Wave, Fusion'99, Proceedings of international conference on information fusion, Sunnyvale, California, USA, Jul.
- H. Mieno, L. Jushu, K. Ohta, M. Aono, T. Ideguchi and T. Mizuno
Multiple Paths Protocol for a Cluster Type Network, Proc. of 18th IEEE international Performance Computing and Communications Conference (IPCCC1999), pp.150-156, Arizona/USA(1999-2)
- T. Okuda, S. Adachi, T. Ideguchi, H. Yasukawa, X. Tain and N. Okazaki
A Dynamic Flexible Grouping over CORBA-based Network within and across Organization, Proc. of the 2nd International Conference on Information Fusion, Vol.2, pp.1297-1304, Sunnyvale/ USA (1999-7)
- X. Tain, H. Yasukawa, T. Ideguchi, T. Okuda, S. Adachi and M. Hata
A Study on CORBA-based Distributed Observation System of Seismic Electromagnetic Wave, Proc. of the 2nd International Conference on Information Fusion, Vol.2, pp.841-846, Sunnyvale/ USA(1999-7)

N.Okazaki, Y.Baba, M.R.Park, S.Seno, K.Nakata and T.Ideguchi

A Method for Private Network Management Using Address Translations, Proc. of 1999 Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT99), pp.256-260, Ulaanbaatar/ Mongolia (1999-8)

S. Seno, T. Ideguchi, Y. Kouji and N. Okazaki

High-performance Communication Processing by the Data-driven Multi-processor System, Proc. of 1999 Asia-Pacific Symposium on Information and Telecommunication Technologies (APSITT99), pp.322-325, Ulaanbaatar/ Mongolia (1999-8)

M. Yabe, T. Ideguchi, T. Fujii, Y. Kouji, Y. Baba and N. Okazaki

Proposal of a Data Transfer Protocol suitable for Multimedia Communication on Shared-Media LAN, Proc. of APCC/OECC'99, Vol.2, pp.246-249, Beijing/ China (1999-10)

Masanori Konda, Taiyo Kobayashi, Miho Toyoda, Norihisa Imasato, and Akira Shibata

The seasonal and interannual variation of the heat budget of the mixed layer evaluated by satellite-derived heat flux and the numerical model velocity field, International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG) 99. Abstracts Week BB.43, Birmingham, July, 19-30.

Masanori Konda, Taiyo Kobayashi, Miho Toyoda, Norihisa Imasato, and Akira Shibata

The seasonal and interannual variation of the heat budget of the mixed layer evaluated by satellite-derived heat flux and the numerical model velocity field, ADEOS and ADEOS-II Joint Symposium/Workshop in Kyoto, NSCAT, QSCAT, Sea Winds and ADEOS Ocean physics joint Workshop, Kyoto, December 6-10.

M. Hata, I. Takumi, S. Yabashi and X. Tian

On electromagnetic wave precursors of extremely low frequency, Progress in Electro magnetics Research Symposium, PIERS1999 7p-552, Taipei, Taiwan, March.

M. Hata, I. Takumi and Y. Yamada

GM counting anomaly preceding volcanic swarm was existed and tell preparing mechanisms of quantum and geochemistry, IUGG99, JSA15/E/59, Birmingham, England, July.

M. Hata, I. Takumi and S. Yabashi

ELF-band monitoring system of volcanic eruption and earthquake, Advances on Natural Hazards Mitigation-Experiences from Europe and Japan-, 1.3 of the proceedings, Athens, Greece, Nov.

H. Yasukawa

Implementation of Huge Tap Adaptive Digital Filters, The IEEE 1999 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems, Proceedings of The IEEE 1999 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems, ISPACS'99, Phuket, Thailand, December.

T. Okuda, S. Adachi, T. Ideguchi, H. Yasukawa, X. Tian and N. Okazaki

A Dynamic Flexible Grouping over CORBA-based Network within and across Organizations, The 2nd International Conference on Information Fusion, Proceedings of The 2nd International Conference on Information Fusion, Fusion'99, Vol.2, pp.1297-1304, Silicon Valley, USA, July.

X. Tian, H. Yasukawa, T. Ideguchi, T. Okuda, S. Adachi and M. Hata

A Study on CORBA-based Distributed Observation System of Seismic Electromagnetic Wave, The 2nd International Conference on Information Fusion, Proceedings of The 2nd International Conference on Information Fusion, Fusion'99, Vol.2, pp.841-846, Silicon Valley, USA, July

Matranga V., Bonaventura R., Zito F., Sciarrino S. & Yokota Y.

Involvement of a 80kDa antigen in sea urchin gastrulation and morphogenesis. Developmental Biology of Sea Urchin XII, Woodshole, MA, USA, Apr.

Yokota Y., Yamamoto N., Komatsu M. and Kato H.

A yolk protein in starfish, *Asterias amurensis* and *Asterina minor*. The International Symposium on Fertilization and

Development of Sea Urchin and Marine Invertebrates Tokyo, Japan, Dec. 1999

S. Adachi

Modeling of air-jet-driven instruments - An unstable jet driven by pressure gradient, Joint Meeting: 137th Meeting of Acoustical Society of America / 2nd Convention of European Acoustic Association: Forum Acusticum 99, J. Acoust. Soc. Am. No.105 pp.1001

A. Ohta and K. Tsuji

On Liveness of Timed Extended Partially Ordered Condition Net under the Earliest Firing Rule, ITC-CSCC'99, Proc. of the ITC-CSCC'99, 新潟, 7月

Takashi OKUDA, Seiji ADACHI, Tetsuo IDEGUCHI, Hiroshi YASUKAWA, Xuejun Tian and Naonobu OKAZAKI

A Dynamic Flexible Grouping over CORBA based Network within and across Organizations Proc. of the 2nd International Conference on Information Fusion, Vol.2, pp.1297-1304, July 6-8, 1999, Sunnyvale CA, USA

Takashi OKUDA

A Networked Dental Condition Prediction System with Artificial Neural Networks and Fuzzy Inference Systems, Proc. of ISAS'99 (International Conference on Information Systems Analysis and Synthesis), Vol.2, pp.202-209, Orlando FL, USA

Takashi OKUDA, Seiji ADACHI, Tetsuo IDEGUCHI, Hiroshi YASUKAWA, and Xuejun Tian

A DYNAMICAL FLEXIBLE GROUPING OVER CORBA-BASED NETWORK AND ITS APPLICATIONS TO NEW BUSINESS MODEL, Proc. of 14th International Conference on Information Networking, No. J20-112, Jan 26-28, 2000, Hsin-Chu, Taiwan, R.O.C.

Takashi OKUDA, Seiji ADACHI, Tetsuo IDEGUCHI, Hiroshi YASUKAWA, and Xuejun Tian,

A Dynamic Flexible Grouping over CORBA-based Network and its Application to Mobile Computing, Proc. of Symposium on Applied Computing, No. PD12, Mar. 19 - Mar. 21, 2000, Como, Italy

Lifeng He, Tsuyoshi Nakamura, Yuyan Chao and Hidenori Itoh

An Improvement of TPP Image Compression by Softing Computing, Third International ICSC Symposium on Soft Computing, Proceeding of the Third International ICSC Symposium ICSC on Soft Computing, Genova, Italy, June

Junji Mano, Lifeng He, Tsuyoshi Nakamura, Atsuko Mutoh, Hidenori Itoh

A Method to Generate Writing-Brush-Style Japanese HIROGARA Characters Calligraphy, IEEE International Conference on Multimedia Computing System and Systems'99, Proceeding of IEEE International Conference on Multimedia Computing System and Systems'99, Florence Italy, June

Tsuyoshi Nakamura, Lifeng He and Hidenori Itoh,

A Proposal of Generating Artistic Japanese Calligraphic Fonts", 12th Australian Joint Conference on Artificial Intelligence, Lecture Notes in Artificial Intelligence 1747(Advanced Topics in Artificial Intelligence), Sydney, Australia, December

Si Si

Entropy in subordination and filtering, The Second International Conference on Quantum Information, Academic frontier 'Quantum theoretical approach to life science, Meijo University, March, 1999.

Si Si

Random irreversible phenomena, Entropy in subordination, International conference on Probability and Irreversibility in Quantum Mechanics, Les Treilles, July

K. Simazaki, K. Kawase, K. Satake, Y. Suzuki, Y. Ogata, M. Imoto and T. Kumamoto

Renewal recurrence models for large earthquakes in Japan, Workshop on Earthquake Recurrence, Proceedings of Workshop on Earthquake Recurrence, Rome, 2月

M.Sugai, Y.Suzuki, T.Kumamoto and M.Matsuo

Simulations of intraplate earthquake hazards in the Japanese islands by use of the active faults catalogue and the historical records, the 8th International Conference on Application of Statistics and Probability in Civil Engineering,

Proceedings of ICASP8, Australia, 12 月

T. Hayasaka, K. Hagiwara, N. Toda, and S. Usui

Determination of the number of hidden units from a statistical viewpoint, In Proceedings of the 6th International Conference on Neural Information Processing, pp.240-245, November 1999, (Perth, Western Austraria).

Kimura,K.

Interannual variations of Siberian High. (International Conference on Climate Change and Variability -Past, Present and Future, Tokyo, September

Kimura,K.

The interannual variation and the east-west expansion of the Siberian High based on an areal index. American Geophysical Union 1999 Fall Meeting, , San Francisco, California, USA, December

K. Suzuki, I. Horiba, and N. Sugie

An Approach to Synthesize Filters with Reduced Structures Using a Neural Network, International Conference on Quantum Information, Proceedings of the Second International Conference on Quantum Information, Nagaya, Japan, March

K. Suzuki, I. Horiba, and N. Sugie

Efficient Approximation of a Neural Filter for Quantum Noise Removal in X-ray Images, IEEE International Workshop on Neural Networks for Signal Processing, Neural Networks for Signal Processing IX, Y. H. Hu et al. Eds., pp.370-379, Madison, WI, USA, Aug.

6.4 国内学会発表

半田暢彦

海洋科学教育と練習船の新展開-地球環境科学の立場から, 1998年度日本海洋学会秋季大会, 京都大学
堀場文彰, 鈴木茂孝, 武岡さおり, 小島浩司, 小栗宏次, 近松均, 渡邊佳彦, 岩田彰

ニューラルネットワークによる体表面電位図解析・診断支援の試み, 第38回日本ME学会大会, 医用電子と生体工学・第37巻特別号(第38回日本ME学会大会論文集), 仙台市, 4月

白井達也, 小栗宏次, 岩田彰

既知・特異情報を含む生体情報における効率的学習アルゴリズムの有効性, 日本ME学会, 日本ME学会東海支部学術集会予稿集, 名古屋, 10月

杉本敏隆, 小栗宏次, 岩田彰

人間の嗜好評価に関するNeural Network味覚情報処理モデルの構築, 日本ME学会, 日本ME学会東海支部学術集会予稿集, 名古屋, 10月

堀場文彰, 鈴木茂孝, 武岡さおり, 小島浩司, 安保泰宏, 小栗宏次, 渡邊佳彦, 岩田彰

ニューラルネットワークを用いた体表面電位図診断支援-心筋梗塞を対象とした検討-, 第16回日本心電学会学術集会, 日本心電学会誌「心電図」Vol19.No.5, 甲府市, 10月

太田淳, 辻孝吉

即時発火POCネットにおけるゼロテストの可能性, 電子情報通信学会, 電子情報通信学会技術報告(CST), 室蘭, 7月

太田淳, 辻孝吉

即時発火活性が可解なベトリネットのサブクラス, 計測自動制御学会, 離散事象システム研究会予稿集, 愛知, 5月

高橋友一, 成瀬正, 二間瀬真司

マルチエージェントシステムにおける協調行動の分析, AI学会AIチャレンジ研究会, 1999.3

二間瀬真司, 成瀬正, 高橋友一

実時間ログモニタを用いたオンラインコーチの実現法, AI学会AIチャレンジ研究会, 1999.5

石綿克利, 永見政宏, 長坂保典, 村上和人, 成瀬正, 高橋友一, 森康夫

Owari-bito(尾張人)の現状および課題と展望, AI学会AIチャレンジ研究会, 1999.10

石綿克利, 長坂保典, 高橋友一, 鈴木宣夫, 永見政宏, 村上和人, 成瀬正

robocup小型リーグにおけるサッカーシステム, 1999年度電気関係学会東海支部連合大会, 1999.9

生田大介, 田中敏光, 堀場勇夫, 山本新, 杉江昇

レリーフを対象にしたモデリング技法の提案, 電気関係学会東海支部連合大会講演論文集, pp.398, 中部大学

吉田豊, 山本新, 堀場勇夫, 杉江昇

正射影速度場からの関節物体の統合的手法による運動立体視理論, 電気関係学会東海支部連合大会講演論文集, pp361, 中部大学

内田和宏, 上田浩次, 小野寺浩, 堀場勇夫, 山本新, 杉江昇

視覚系のマルチチャンネルモデルによる道路情報板の視認試験支援システム, 電気関係学会東海支部連合大会講演論文集, pp.391, 中部大学

紅林稔幸, 魚住英治, 吉田豊, 鈴木賢治, 堀場勇夫, 岡林繁, 山本新, 杉江昇

音が人の心に及ぼす影響-さびの分析-, 電気関係学会東海支部連合大会講演論文集, pp.353

爾卓良, 都築正樹, 加藤亘, 堀場勇夫, 山本新, 杉江昇

監視システムのためのTVカメラのダイナミックレンジ拡大法, 電気関係学会東海支部連合大会講演論文集, pp.387, 中部大学

藤井哲志, 神山齊己, 竹部啓輔, 臼井支朗

網膜外網状層神経回路の超並列シミュレーション解析, 電子情報通信学会技術研究報告, NC98-186, pp.253-261, 1999/3

石原彰人, 神山齊己, 臼井支朗

網膜オン型杆体双極細胞の光応答形式に関するシミュレーション解析, 第 14 回生体・生理工学シンポジウム, pp.229-233, 1999/10

横山淳一, 山本勝, 永井昌寛

在宅介護支援情報システムの開発, 第 3 回医療情報学シンポジウム, 医療情報学 19 Suppl., pp.84-85, 大阪, 6月

丸田辰哉

Minihypers in PG(r,q) and linear codes, 短期共同研究「代数的符号理論とデザインの研究」, 京都大学数理解析研究所, 9月

押田昌大, 山口剛, 富永将史, 奥水大和, 遠藤利生, 鳥生隆, 村上和人

Hough 変換などを用いた顔部品認識の試み-似顔絵生成システム PICASSO の顔入力部自動化-, 電子情報通信学会 PRMU 研究会, 電子情報通信学会技術研究報告 PRMU98-225(pp.41-48), 東京大学生産技術研究所(東京), 1999.2

藤原孝幸, 富永将史, 村上和人, 奥水大和

インターネット似顔絵生成システム Web-PICASSO, 第 5 回画像センシングシンポジウム(SII'99), 講演論文集(pp.135-140), パシフィコ横浜(横浜), 1999.6

李洲, 富永将史, 加藤邦人, 村上和人, 奥水大和

線分検出の Hough 変換 DTHT の改善, 第 5 回画像センシングシンポジウム(SII'99), 講演論文集(pp.277-282), パシフィコ横浜(横浜), 1999.6

山口剛, 富永将史, 奥水大和, 村上和人

Hough 変換を用いた瞳認識と Eye-contact Camera への応用", 日本顔学会, フォーラム顔学'99(第 4 回日本顔学会大会)論文集(p.25), 国立科学博物館(東京), 1999.8

藤原孝幸, 富永将史, 奥水大和, 村上和人

インターネットに掲載した似顔絵コンピュータ PICASSO, 日本顔学会, フォーラム顔学'99(第 4 回日本顔学会大会)論文集(p.55), 国立科学博物館(東京), 1999.8

富永将史, 松本哲, 山口剛, 奥水大和, 村上和人

似顔絵生成を目的とした顔認識, 日本顔学会, フォーラム顔学'99(第 4 回日本顔学会大会)論文集(p.56), 国立科学博物館(東京), 1999.8

加藤邦人, 遠藤利生, 鳥生隆, 村上和人, 奥水大和

ランダム投票 Hough 変換アルゴリズムの提案と理論・実験的評価, 第 11 回外観検査の自動化ワークショップ, 講演論文集(pp.32-37), 中央大学(東京), 1999.11

李洲, 富永将史, 奥水大和, 加藤邦人, 村上和人

線分検出のための高精度・高速 Hough 変換 DTHT アルゴリズム, 第 11 回外観検査の自動化ワークショップ, 講演論文集(pp.38-43), 中央大学(東京), 1999.11

山口剛, 富永将史, 奥水大和, 村上和人

Hough 変換を用いた瞳認識とアイコンタクトする顔映像生成について, 電子情報通信学会 PRMU 研究会, 電子情報通信学会技術研究報告 PRMU99-136(pp.21-28), 琉球大学(沖縄), 1999.11

石綿克利, 長坂保典, 高橋友一, 鈴村宣夫, 永見政宏, 村上和人, 成瀬正

RoboCup 小型リーグにおけるサッカーシステム, 平成 11 年度電気関係学会東海支部連合大会, 講演論文集(p.254), 中部大学(愛知県), 1999.9

- 山口剛, 富永将史, 輿水大和, 村上和人,
円の Hough 変換を用いた瞳認識と Eye-contact Camera への応用", 平成 11 年度電気関係学会東海支部連合大会, 講演論文集(p.373), 中部大学(愛知県), 1999.9
- 李洲, 富永将史, 加藤邦人, 村上和人, 輿水大和
線分検出の Hough 変換 DTHT の高速化・高精度化, 平成 11 年度電気関係学会東海支部連合大会, 講演論文集(p.373), 中部大学(愛知県), 1999.9
- 藤原孝幸, 富永将史, 村上和人, 輿水大和
ネットワークを用いた似顔絵生成システムの生成法とその評価法, 平成 11 年度電気関係学会東海支部連合大会, 講演論文集(p.377), 中部大学(愛知県), 1999.9
- 松本哲, 富永将史, 加藤邦人, 村上和人, 輿水大和,
動画像からの人の顔領域の抽出とトラッキング, 平成 11 年度電気関係学会東海支部連合大会, 講演論文集(p.385), 中部大学(愛知県), 1999.9
- 富永将史, 山口剛, 村上和人, 輿水大和
似顔絵生成へむけた顔の自動認識, 平成 11 年度電気関係学会東海支部連合大会, 講演論文集(p.771), 中部大学(愛知県), 1999.9
- 石綿克利, 永見政宏, 長坂保典, 村上和人, 成瀬正, 高橋友一, 森康夫
Owari-bito(尾張人)の現状および課題と展望, 人工知能学会研究会資料 SIG-Challenge-9906(pp.46-52), 奈良先端科学技術大学院大学(奈良県), 1999.10
- 山村毅
日本語文における照応処理, 電気関係学会東海支部連合大会シンポジウム, 中部大学, 9
- 山本晋一郎
オープンソースとソフトウェアリサイクル, 情報処理学会ウインターワークショップ・イン・高知, 情報処理学会シンポジウムシリーズ, Vol.99, No.1, pp.75-76, 高知, (1999/1)
- 尾崎憲幸, 吉田敦, 山本晋一郎, 阿草清滋
意味を考慮したプログラムの差分抽出法の提案, 情報処理学会ソフトウェア工学研究会, Vol.123, No.4, pp.25-32, 東京, (1999/5)
- 大橋洋貴, 山本晋一郎, 阿草清滋,
ソフトウェア空間をトラバースする柔軟な検索, 日本ソフトウェア科学会第 16 回大会論文集, pp.149-152, 和歌山, (1999/9)
- 古山将佳寿, 山本晋一郎, 阿草清滋
ドキュメントを含むソフトウェアモデルの提案, 日本ソフトウェア科学会 FOSE'99, pp.100--107, 北海道, (1999/11)
- 鈴木孝聡, 山本晋一郎, 阿草清滋,
Java プログラムの振舞いのモデル化, 日本ソフトウェア科学会 FOSE'99, pp.236--243, 北海道, (1999/11)
- 田学軍, 井手口哲夫, 畑雅恭
イーサネットとトークンバスの切替方式の検討, 電子情報通信学会, 信学技報(IN99-63, CQ99-41), 東京機械振興会館, 10 月
- 田学軍, 安川博, 井手口哲夫, 奥田隆史, 足立整治, 畑雅恭
統合型地震誘導電磁波情報システム, 電子情報通信学会, 1999 年通信ソサイエティ大会論文集 2, 日大西船橋キャンパス, 9 月
- 亀田通, 井手口哲夫, 岡崎直宣, 厚井裕司
再帰的 N U R B S 処理手法を用いたモバイル通信での 3 次元仮想空間内での自由曲面の圧縮転送方法の検討, 情報処理学会, 研究報告 99-MBL-8, Vol.99, No.13, pp.55-62, 東京(1999-2)

岡崎直宣, 馬場義昌, 朴美娘, 井手口哲夫

通信グループの分散管理手法の検討, 情報処理学会, マルチメディア・分散・協調とモバイル (DICOMO'99) ワークショップ論文集, pp.1-6, 和歌山(1999-7)

飯田峰彦, 峰野博史, 太田賢, 井手口哲夫, 水野忠則

通信回線共有方式におけるクラスタ内転送速度の検討, 情報処理学会, マルチメディア・分散・協調とモバイル (DICOMO'99) ワークショップ論文集, pp.1-6, 和歌山(1999-6)

亀田通, 井手口哲夫, 厚井裕司

仮想 3 次元空間内 NURBS 自由曲面の制御点などのデータ削減と補償的最適化手法の提案, 情報処理学会, 研究報告 99-MBL-10, Vol.99, No.80, pp.1-8, 愛知(1999-10)

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍

CORBA ベースネットワークにおけるフレキシブルグルーピング, 情報処理学会, 研究報告 99-MBL-10, Vol.99, No.80, pp.25-31, 愛知 (1999-10)

飯田峰彦, 石原進, 井手口哲夫, 水野忠則

通信回線共有方式の耐障害性の検討, 情報処理学会, 研究報告 99-MBL-10, Vol.99, No.80, pp.41-48, 愛知 (1999-10)

渡邊晃, 稲田徹, 井手口哲夫, 笹瀬巖

閉域通信グループの実現を容易にするグループ探索プロトコルの提案, 情報処理学会, コンピュータセキュリティウィシンポジウム'99(CSS'99)論文集, pp.209-214, 金沢(1999-10)

田学軍, 井手口哲夫, 畑雅恭

イーサネットとトークバスの切り替え方式の検討, 電子情報通信学会, 技術研究報告 IN99, Vol.99, No.405, pp.1-6, 東京(1999-10)

朴美娘, 岡崎直宣, 井手口哲夫

マルチキャスト通信上での効率的な鍵配布方式に関する検討, 情報処理学会, マルチメディア通信と分散処理ワークショップ, 別府(1999-12)

飯田峰彦, 峰野博史, 太田賢, 井手口哲夫, 水野忠則

通信回線共有方式におけるクラスタ構成機能の実装, 情報処理学会第 58 回(平成 11 年前期)全国大会講演論文集第 3 分冊, 2Q-03, 東京(1999-3)

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍, 岡崎直宣

CORBA ベースネットワークにおけるフレキシブルグルーピング, 1999 年電子情報通信学会通信ソサイエティ大会講演論文集, 千葉(1999-9)

田学軍, 安川博, 井手口哲夫, 奥田隆史, 足立整治, 畑雅恭

統合型地震誘導電磁波情報システム, 1999 年電子情報通信学会通信ソサイエティ大会講演論文集, 千葉 (1999-9)

石川貴士, 石原進, 井手口哲夫, 水野忠則

リアルタイム性の強いネットワークアプリケーションの公平性を考慮した通信方式の提案, 情報処理学会, 東海支部大会論文講演論文集, 岐阜(1999-9)

岡崎直宣, 馬場義昌, 朴美娘, 井手口哲夫

通信グループの分散管理手法の一検討, 情報処理学会第 59 回(平成 11 年後期)全国大会講演論文集, 岩手 (1999-10)

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍

新しいビジネスモデルとダイナミカル・フレキシブル・グルーピングサポートシステムについて, 経営情報学会, 1999 年秋季全国研究発表大会予稿集, pp.371-374, 沖縄(1999-11)

根田昌典, 川口盛平, 豊田美帆, 富田裕之, 今里哲久, 久保田雅久

インド洋の大気海洋相互作用, 日本海洋学会, 1999 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 東京, 3 月

今里哲久

海洋科学教育の現状と問題点, 日本海洋学会, 1999 年度日本海洋学会春季大会講演要旨集, 東京, 3 月
根田昌典, 小林大洋, 豊田美帆, 今里哲久

北太平洋表層の熱収支, 日本海洋学会, 1999 年度日本海洋学会秋季大会講演要旨集, 函館, 9 月

畑雅恭

低周波磁界による地震予知, 電気学会総合全国大会シンポジウム, 山口大学, 3 月。

畑雅恭, 内匠逸, 矢橋清二, 森田斌

浅海底における地震電磁波前兆の観測, 1999 地球惑星科学関連学会合同大会, Sj-006, 6 月

畑雅恭, 中村文一

地震前兆電磁波放射と赤外線撮影で出現する線状ドット痕について, 1999 地球惑星科学関連学会合同大会, Sj-p004, 6 月

宇佐見庄五, 臼田毅, 内匠逸, 畑雅恭

量子擬巡回符号の通信路容量の超加法性に関する一考察, 第 2 2 回情報理論とその応用シンポジウム, 光通信理論 21 . 6, 新潟, 湯沢, 11-12 月

H. Yasukawa

A study on speech enhancement by wideband signal extrapolation from bandlimited speech in telephone transmission, 情報理論とその応用学会, 第 22 回情報理論とその応用シンポジウム論文集, pp. 149-152, 越後湯沢, 12 月

安川博

超大タップ長を有する適応フィルタの構成法に関する検討, 電子情報通信学会, 第 14 回デジタル信号処理シンポジウム論文集, A4-5, pp. 783 -786, 北九州, 11 月.

志波幸一, 西門秀人, 山内寛紀, 安川博

遺伝的プログラミング手法による画像歪み自動補正法の検討, 電子情報通信学会, 第 14 回デジタル信号処理シンポジウム論文集, B5-5, pp. 581 -586, 北九州, 11 月.

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍

ビジネスモデルとフレキシブルグルーピングサポートシステムについて, 経営情報学会, 1999 経営情報学会秋季全国研究発表大会論文集 2-10-2, 沖縄, 11 月.

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍, 岡崎

CORBA ベースネットワークにおけるフレキシブルグルーピング, 情報処理学会, モバイルコンピューティング研究会 10-4, pp. 25-31, 愛知県立大学, 10 月.

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍, 岡崎

CORBA ベースネットワークにおけるフレキシブルグルーピング, 電子情報通信学会, 1999 電子情報通信学会通信ソサエティ大会論文集 B-7-10, 日大理工学部, 9 月.

田学軍, 安川博, 井手口哲夫, 奥田隆史, 足立整治, 畑雅恭

統合型地震誘導電磁波情報システム, 電子情報通信学会, 1999 電子情報通信学会通信ソサエティ大会論文集 B-7-11, 日大理工学部, 9 月.

山本紀子, 小松美英子, 横田幸雄

キヒトデ卵黄タンパク質の成体内および胚内分布, 日本動物学会第 70 回大会, 山形, 9 月, 1999

太田淳

P インバリエントを用いたペトリネットのフィードバック制御問題の線形計画法を用いた一解法, 電子情報通信学会コンカレント工学研究会, 電子情報通信学会技術報告 98-264, NEC 那須リゾート, 1 月

太田淳, 辻孝吉

即時発火活性が可解なペトリネットのサブクラス, 第 24 回計測自動制御学会離散事象システム研究会, 第 24 回計測自動制御学会離散事象システム研究会講演論文集, 愛知県立大学, 5 月

太田淳

時間つきペトリネットのサブクラスの解析問題について, 第 25 回計測自動制御学会離散事象システム研究会, 第 25 回計測自動制御学会離散事象システム研究会講演論文集, 室蘭工業大学, 7 月

太田淳, 辻孝吉

即時発火 AC ネットによるゼロテストの可能性, 電子情報通信学会コンカレント工学研究会, 電子情報通信学会技術報告 99-204, 室蘭工業大学, 7 月

奥田隆史

電子商取引におけるマニュアルへのアプローチとしての日米職業別電話帳の利便性の比較, 経営情報学会 1999 年度春季全国研究発表大会, No.C-1-2, pp.25-28, 千葉工業大学, 5 月

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍, 岡崎

CORBA ベースネットワークにおけるフレキシブルグルーピング, 1999 年電子情報通信学会通信ソフトウェア大会, B-7-10, pp.50, 日本大学工学部, 9 月

花井, 奥田隆史, 他

高等学校普通科における情報教育推進のための基礎調査, 日本教育工学会第 15 回全国大会, 2aK-06, pp.465-466, 富山大学, 10 月

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍, 岡崎

CORBA ベースネットワークにおけるフレキシブルグルーピング, 情報処理学会モバイルコンピューティング研究会, 10-4, pp.25-32, 愛知県立大学, 10 月

奥田隆史, 足立整治, 井手口哲夫, 安川博, 田学軍

新しいビジネスモデルとダイナミカル・フレキシブル・グルーピングサポートシステムについて, 経営情報学会 1999 年度秋季全国研究発表大会, 2-J-2, pp.371-374, 沖縄国際大学, 11 月

Si Si

Multiple Markov Gaussian random fields, Symp. on New Development of Infinite-Dimensional Analysis and Quantum Probability, RIMS, Kyoto, September, 1999..

Si Si

Gaussian processes and Gaussian random fields, Workshop on Randomness and Irreversibility in White noise approach, I. I.A.S., Kyoto. October, 1999.

Si Si

イタリアとフランスにおける古典変分解析, 数学の研究会, 津田塾大学, October, 1999.

Si Si

Canonical representation and Markov property of Gaussiann random fields, Symposium on Recent Trends in Stochastic Models arising Natural Phenomena and the Theory of Measured valued Stochastic Processes, RIMS, Kyoto, November, 1999.

Si Si

Revesibility of random fields, Workshop on Infinite dimensional Analysis and Quantum Probability, Nagoya University, November, 1999.

太田陽子, 鈴木郁夫, 渡辺満久, 澤祥, 鈴木康弘

十日町断層研究グループ, 信濃川中流十日町断層のトレンチ調査 - 新宮・土市地区, 日本地理学会, 日本地理学会予稿集, 専修大学, 3 月

渡辺満久, 太田陽子, 鈴木郁夫, 澤祥, 鈴木康弘

試錐調査からみた鳥越断層の完新世における活動度, 日本地理学会, 日本地理学会予稿集, 専修大学, 3 月

鈴木康弘, 堤浩之, 渡辺満久, 植木岳雪, 奥村晃史, Strel'tsov,M., Rozhdestvensky,V., Terentiev,N., Kozhurin,A., Bulgakov,R., Ivashchenko,A.

サハリンにおける活断層の分布調査, 日本地理学会, 日本地理学会予稿集, 専修大学, 3 月

小口高, 勝部圭一, 杉盛啓明, 佐野滋樹, 柚原正幸, 鈴木康弘, 5 mメッシュ DEM の解析 - 愛知万博開催予定地付近を例に - (第一報), 日本地形学連合, 地形, 東京, 4月

堤浩之, 鈴木康弘, 後藤秀昭, 奥村晃史, 植木岳雪, 渡辺満久, Kozhurin,A., Strel'tsov,M., Bulgakov,R.

サハリン中部におけるポロナイスク低地帯西縁断層の第四紀後期断層運動, 地球惑星科学関連学会, 地球惑星科学関連学会予稿集, 東京, 6月

鈴木康弘, 堤浩之, 渡辺満久, 植木岳雪, 奥村晃史, Strel'tsov,M., Kozhurin,A., Bulgakov,R.

サハリンの活断層, 地球惑星科学関連学会, 地球惑星科学関連学会予稿集, 東京, 6月

渡辺満久, 鈴木康弘

神戸周辺における兵庫県南部地震時の地表変位, 地球惑星科学関連学会, 地球惑星科学関連学会予稿集, 東京, 6月

太田陽子, 鈴木郁夫, 渡辺満久, 澤祥, 鈴木康弘

十日町断層(新宮, 土市地区)トレンチ調査, 地球惑星科学関連学会, 地球惑星科学関連学会予稿集, 東京, 6月

鈴木康弘

直下地震時の断層運動に起因する地盤挙動に関する課題, 地盤工学会, 地盤工学会発表論文集, 東京, 7月

中田高, 鈴木康弘

活断層の分布形態と破壊過程, 日本第四紀学会, 日本第四紀学会講演要旨集, 京都大学, 8月

鈴木康弘, 渡辺満久, 岡田篤正, 竹村恵二, 慶在福, 廣内大助, 金幸隆, 峯元愛, 大石超, 中村洋介, 成瀬敏郎

韓国南東部, 蔚山断層の古地震活動 - 慶州市葛谷里における第2次トレンチ調査 -, 日本第四紀学会, 日本第四紀学会講演要旨集, 京都大学, 8月

須貝俊彦, 伏島祐一郎, 栗田泰夫, 吾妻崇, 苅谷愛彦, 岩崎孝明, 小俣雅志, 中井信之, 松山澄久, 鈴木康弘,

中井正幸

完新世における養老断層系の活動履歴 - 1596年天正地震, 745年天平地震震源断層の可能性 -, 日本第四紀学会, 日本第四紀学会講演要旨集, 京都大学, 8月

鈴木康弘, 半田暢彦, 地域環境GIS研究会

森林成長に関する計測技術の開発とその意義 - 愛知万博予定地を例に -, 日本環境共生学会, 日本環境共生学会発表論文集, 日本大学, 9月

堤浩之, 後藤秀昭, 奥村晃史, 鈴木康弘, 植木岳雪, Kozhurin,A., Strel'tsov,M., Bulgakov,R.

ロシア連邦サハリン州中部における活断層の分布と活動度, 地理科学学会, 地理科学学会予稿集, 広島, 9月

渡辺満久, 鈴木康弘, 岡田篤正, 竹村恵二, 慶在福, 廣内大助, 金幸隆, 峯元愛, 大石超, 中村洋介, 成瀬敏郎

韓国南東部, 蔚山断層の後期更新世における活動, 日本地理学会, 日本地理学会予稿集, 四国大学, 10月

鈴木康弘, 廣内大助

伊勢平野西縁の活断層と活動度 - 平均変位速度分布から見た活断層のセグメンテーション評価について(予察) -, 日本地震学会, 日本地震学会講演予稿集, 11月

太田陽子, 渡辺満久, 澤祥, 鈴木康弘

台湾中部 921集集地震の地震断層 - とくに断層変位地形とその累積性 -, 日本地震学会, 特別セッションプログラム, 仙台, 11月

神沼健彦, 戸田尚宏, 白井支朗

心臓血管系モデルを用いた加齢に伴う加速度脳波変化の再現", 電子情報通信学会技術研究報告, MBE98-155, pp.107-115, (東京:玉川大学), (1999年3月).

佐藤正昭, 山地一禎, 戸田尚宏, 白井支朗

視覚 - 前庭系感覚統合機構に基づく眼球運動モデルに関する研究", 電子情報通信学会技術研究報告, MBE98-152, pp.85-91, 東京:玉川大学, 3月

T. Hayasaka, K. Hagiwara, N. Toda, and S. Usui

Statistical model selection for the nonlinear regression models with orthogonal basis functions, 1999 年情報論的
学習理論ワークショップ予稿集, pp.151-156, 伊豆, 8 月

北原正慈, 早坂太一, 戸田尚宏, 臼井支朗

3 層階層型ニューラルネットワークの学習後の結合重みが従う確率分布について, 日本神経回路学会第
9 回全国大会講演論文集, pp.171-172, 札幌, 9 月

飯島慈裕, 福與聡, 木村圭司, 浜田崇, 尾関雅章, 山本聡子, 福井幸太郎, 栗原緑, 増澤直, 宮原育子, 水野一晴,
松本淳

木曾駒ヶ岳高山地域における環境操作実験による温度環境と高山植生の応答, 日本気象学会 1999 年度
秋季大会, 日本気象学会 1999 年秋季大会講演予稿集, 371, アクロス福岡, 11 月

朝比奈成年, 石樽康雄, 小濱剛, 臼井支朗

眼球運動, 焦点調節, 瞳孔反応の両眼同時計測の試み", 1999 年度電気関係学会東海支部連合大会, pp.342,
(1999/9).

張菁, 小濱剛, 山地一禎, 石樽康雄, 堺浩之, 臼井支朗

画像のボケと眼球運動に関する一考察", 信学技法, 99, 493, pp.53-58

鈴木賢治, 堀場勇夫, 杉江昇

画像サイズに依存した時間で演算終了する高速なラベル付け手法, 電子情報通信学会, 電子情報通信学
会技術研究報告, PRMU99-123, pp. 157-164, 沖縄, 11 月

6.5 その他

半田暢彦

海洋科学教育と練習船の新展開 - 地球環境科学の立場から, 月刊海洋, 31, pp.31-36

半田暢彦

海洋と地球エンジン, LEMA(Land Engine Manufacturing Association), No.457, pp.11-14

半田暢彦

海洋科学教育とSCS, 月刊海洋, 31, pp.751-756.

内田和宏, 小野寺浩, 堀場勇夫, 山本新, 杉江昇

視覚系のマルチチャンネルモデルに基づいた道路情報提供方法の研究, 第5回画像センシングシンポジウム講演論文集, pp.351-354

吉田豊, 山本新, 堀場勇夫, 杉江昇

正射影速度場からの関節物体の統合的3次元構造復元, 第5回画像センシングシンポジウム講演論文集, pp.355-358

南木通生, 丸井伸行, 春日一行, 堀場勇夫

X線画像からの大動脈径変化の抽出法とその臨床応用について, 日本災害医学会誌 JJTOM, Vol.47, No.9, pp.579-583

鈴木賢治, 堀場勇夫, 杉江昇

画像サイズに依存した時間で演算終了する高速なラベル付け手法, 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU99-123, pp.157-164

丸田辰哉

On the extension theorem for linear codes, 数理解析研究所講究録 1106, pp.102-105.

山崎通弘, 山村毅, 大西昇

スタイル選択可能な文書作成支援システム, 電子情報通信学会技術研究報告, NLC98-54, pp.1-8

倉内貴裕, 山村毅, 大西昇

日本語指示詞における推論による照応の解決手法の検討 - 事物が変化する場合の照応解決 -, 電子情報通信学会技術研究報告, NLC98-55, pp.9-16

石川数馬, 山村毅, 大西昇

擬似輪郭を含んだ不完全画像からの関節物体の抽出についての検討, 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU98-252, pp.81-88

Lim Jit Kean, 工藤博章, 山村毅, 田中敏光, 大西昇

運動パラメータに基づく手の動きの識別, 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU98-254, pp.97-104

玉木徹, 山村毅, 大西昇

フローの curl に基づいた回転する人物の腕の抽出とパラメータ推定", 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU99-35, pp.41-48

山本晋一郎, 大橋洋貴, 大久保弘崇, 粕谷英人, 阿草清滋

オープンソースの潮流を支援するためのソースプログラム・アーカイブ・サイトの提案, ソフトウェアシンポジウム'99 論文集, pp.129-137

井手口哲夫

モバイルコミュニケーション, bit, 共立出版, Vol.31, No.1, pp.10-15(1999-1)

H. Yasukawa

Properties and Reconstruction of Degraded Speech Signals Through Transmission, 統計数理研究所共同研究リポート 94, 「逆問題とその周辺(5)」, pp. 227-230.

等々力政彦, 榊原健一, 小坂直敏, 足立整治

トゥバの喉歌フォーメイ(ホームイ)の歌唱について, 音楽音響研究会資料 MA99-37 pp.119-126

足立整治

バイフォニック歌唱ホーミーの発声機構について, 信学技報/音楽音響研究会資料 EA99-25/MA99-10
pp.17-24

鈴木康弘

活断層と地震防災の行方, UP (東大出版会報), 323号, pp.6-11

戸田尚宏, 臼井支朗

非線形自己回帰モデルによる高次スペクトル推定, 豊田研究報告, No.52, pp.45-54 (1999年5月).

Toda, N., Hayashi, N. and Usui, S.

"A Method for Calculating Higher-Order Spectra of a Nonlinear Autoregressive Model with Low Memory Requirements", Electronics and Communications in Japan, Part.3, 82, 11, pp.47-57, (1999年11月).

牛山素行, 三上岳彦, 木村圭司

東京圏における高密度都市気候観測網の整備について. 『ヒートアイランドの計測制御システム中間報告書』 科学技術振興事業団戦略的基礎研究 (代表者 久保幸夫), pp.4-15

山添謙, 牛山素行, 三上岳彦, 木村圭司

東京における夏季および秋季の気温分布の日変化 高密度都市気候観測網データを用いた解析 .
『ヒートアイランドの計測制御システム中間報告書』 科学技術振興事業団戦略的基礎研究 (代表者 久保幸夫), pp.16-22

出田和久, 木村圭司, 宮崎良美

近世絵図の地図性 歪みの計測による若干の検討 . 『古地図に描かれた内容のデータベース化のためのシステム構築』平成10年度文部省科学研究費補助金特定領域研究『人文科学とコンピュータ』公募班研究成果報告書 (代表者 出田和久), pp.49-64

7 学外活動

7.1 招待講演（学会など）

講演者	講演題目，講演場所，日時等
半田暢彦	「海洋物質循環と生態系変動」，筑波大学生物科学系，6月30日
神山齊己	「ニューラルネットワークの基礎」，第27回若手材料研究会(日本金属学会・日本鉄鋼協会東海支部若手材料研究会)，名古屋，3月9日
Si Si	"White noise approach to random fields", Summer School on White noise approach to Classical and Quantum Stochastic Calculi, Trento, July 19-24
鈴木賢治	"System Identification vis Artificial Neural Networks: a Structural Learning-Based Approach with White Noise", Second International Conference on Quantum Information, Nagoya, Japan, 3月4日

7.2 招待講演（その他）

講演者	講演題目，講演場所，日時等
半田暢彦	「海洋と地球温暖化」，旬の会，ホテルアソシア（高山），8月27日
小栗宏次	中部行政管理局行政監理者研修（総務庁），KKR 三の丸，3月9日
小栗宏次	地域情報化セミナー（自治省），地域活性化センター，5月14日
小栗宏次	中部情報化セミナー（中部開発センター），名古屋銀行協会，5月20日
小栗宏次	名古屋ソフトウェアセンター創立10周年記念式典，名古屋ソフトウェアセンター，5月24日
小栗宏次	愛知県県民大学，愛知県中小企業会館，6月12日
堀場勇夫	「命を支える情報科学」，愛知県私立中学高等学校父母の会連合会会長研修会，名古屋ガーデンパレス，10月27日
堀場勇夫	「情報科学と医用診断システム」，名城大学工学部市民開放講座，名城大学，11月6日
神山齊己	「インターネットの便利性と落とし穴」，瀬戸市民生涯学習セミナー，瀬戸市中央公民館，7月31日
村上和人	「画像処理技術の利用例について(顔画像を対象とした似顔絵システムについて)」，岡山県工業技術センターバイオニア育成事業，岡山県工業技術センター，3月12日
井手口哲夫	「企業情報通信網とインターネット」，技術改善費補助事業成果普及講習会，愛知県工業技術センター，3月9日
足立整治	"Several topics on musical acoustics: brass instruments, organ flue pipes and biphonic singing", SM@RT: Institut für Wiener Klangstil, Universität für Musik und darstellende Kunst, Vienna, Austria, 3月12日
奥田隆史	「インターネットと環境問題」，平成11年度高等学校外部活力導入支援事業講演会，岐阜県立岐阜工業高等学校，9月7日
奥田隆史	「情報とインターネット」，平成11年研修会，愛知県教育センター，10月2日
奥田隆史	「情報伝達手段としてのインターネット」，平成11年朝日大学特殊講義，朝日大学，12月17日
Si Si	"Historical view and some development of variational calculus applicable to random fields", Special Lecture in Roma University, (in addition, joint research in Roma University), July 9-18
鈴木康弘	「活断層に関わる最近の話題」名古屋大学先端研フォーラム，名古屋大学，1月7日
鈴木康弘	「愛知県周辺の活断層」，東海地震火山研究会，名古屋大学，2月3日
鈴木康弘	「平成10年度尾張北東部・西三河北西部地域活断層調査結果」，愛知県防災会議地震部会，愛知県庁，5月25日
鈴木康弘	「森林成長に関する計測技術の開発とその意義」，科学技術交流センター・メディアフォーラム，愛知県庁，9月16日
鈴木康弘	[世界の地震・日本の地震，日本大学・千代田区共催「海外事情講座」，日本大学，9月25日
鈴木康弘	「愛知県周辺の主要活断層」，設計入力地震動研究協議会第1回研究会，名古屋市，11月12日

7.3 学会活動

氏名	委員名
半田暢彦	日本海洋学会評議員
半田暢彦	日本地球化学会鳥居基金審査委員長
半田暢彦	日本環境共生学会評議員
半田暢彦	日本環境共生学会学術委員会幹事
半田暢彦	文部省科学研究費補助金特定領域研究「大気化学」評価委員
半田暢彦	文部省科学研究費補助金特定領域研究「NEAR GOOS」評価委員
半田暢彦	文部省科学研究費補助員特定領域研究「IGBP」評価委員
小栗宏次	電子情報通信学会論文査読委員
小栗宏次	日本 ME 学会、ME におけるニューロ情報処理技術研究会幹事
辻孝吉	電子情報通信学会 英文論文誌 A Associate Editor
辻孝吉	電子情報通信学会 コンカレント工学専門委員会委員
辻孝吉	電子情報通信学会英文誌 コンカレントシステム技術小特集号ゲストエディタ
成瀬正	情報処理学会論文誌編集委員会委員
成瀬正	電子情報通信学会論文査読委員
成瀬正	東海 AI 研究会幹事
堀場勇夫	情報処理学会東海支部評議員(平成11年4月まで)
堀場勇夫	電気学会道路交通における計測関連技術調査専門委員会委員
堀場勇夫	情報処理学会論文査読委員
神山斉己	電子情報通信学会論文査読委員
丸田辰哉	学術雑誌「Journal of Statistical Planning and Inference」査読委員
丸田辰哉	学術雑誌「Mathematica Japonica」査読委員
村上和人	電気学会 パターン認識の適用環境の拡大協同研究委員会 幹事補佐
村上和人	情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)研究会 連絡委員
村上和人	映像情報メディア学会 画像情報システム研究委員会 委員
村上和人	日本非破壊検査協会 非破壊検査画像処理特別研究委員会 幹事
村上和人	顎顔面バイオメカニクス学会 評議員
村上和人	電子情報通信学会論文誌査読委員
山村毅	電子情報通信学会論文誌査読委員

氏名	委員名
山本晋一郎	電子情報通信学会 知能ソフトウェア工学研究専門委員会専門委員
山本晋一郎	電子情報通信学会 ソフトウェアサイエンス研究専門委員会専門委員
山本晋一郎	情報処理学会 ソフトウェア工学研究会専門委員
井手口哲夫	電子情報通信学会 情報ネットワーク研究専門委員会委員
井手口哲夫	情報処理学会 モバイルコンピューティング研究連絡会連絡委員
井手口哲夫	情報処理学会 ITS研究グループ連絡会連絡委員
井手口哲夫	情報処理学会 論文誌編集委員会編集委員
井手口哲夫	情報処理学会 論文誌編集委員会査読委員
井手口哲夫	電子情報通信学会 ソサエティ論文誌編集委員会査読委員
井手口哲夫	情報処理学会 平成 11 年度論文賞委員
井手口哲夫	1999 International Conference on Parallel Processing(ICPP'99)のプログラム実行委員
井手口哲夫	情報処理学会論文誌 「電子化知的財産・社会基盤」特集号編集委員会委員
井手口哲夫	(財)製造科学技術センター 国際規格回答原案調査・ISO/TC184/SC5 国内対策委員会(アーキテクチャ,通信,インテグレーション・フレームワーク)委員長
井手口哲夫	(財)製造科学技術センター F A 国際標準化委員会委員
今里哲久	日本海洋学会評議員
今里哲久	日本海洋学会沿岸海洋研究部会委員
畑雅恭	電子情報通信学会情報セキュリティ研究専門委員会顧問
畑雅恭	電子情報通信学会東海支部顧問
畑雅恭	情報理論とその応用学会理事
畑雅恭	電気学会「地震に伴う電磁現象調査専門委員会」幹事
安川博	電子情報通信学会和文論文誌特集号編集委員
横田幸雄	日本動物学会中部支部地区委員
横田幸雄	日伊生物学会会長
横田幸雄	国際海洋センター(International Marine Centre, Oristano, Italy)科学委員, 理事
足立整治	音楽音響研究会幹事
足立整治	日本音響学会春期研究発表会 音楽音響セッション副座長
足立整治	日本音響学会秋期研究発表会 音楽音響セッション副座長
足立整治	日本音響学会編集委員会査読委員
太田淳	電子情報通信学会英文誌コンカレント技術小特集号編集委員

氏 名	委 員 名
奥田隆史	経営情報学会地域における生産・流通ネットワーク研究部会メンバー
奥田隆史	K2:座長(SCISSS),司会者 Co-Chair of the session titled "Special Methodologies for Specific Kinds of Applications II" (Room No. 4) on SUNDAY AUGUST 1, 1999 FROM 4:00 to 6:00 p.m. the Third World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics (SCI'99) and the Fifth International Conference on Information Systems Analysis and Synthesis (ISAS'99), to be held in Orlando, USA, from July 31 to
何立風	電子情報通信学会論文誌審査委員
鈴木康弘	日本地震学会,学会誌編集委員会委員
鈴木康弘	日本地理学会,地理教育専門委員会委員
鈴木康弘	日本環境共生学会,学術委員会委員
鈴木康弘	地盤工学会,過圧密土の力学に関する研究委員会委員
戸田尚宏	電子情報通信学会 和文論文誌 D-II 編集委員
戸田尚宏	電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティックス研究専門委員
木村圭司	地理情報システム学会 中部地方事務局長
小濱剛	映像情報メディア学会論文委員

7.4 社会活動

氏名	委員名
半田暢彦	日本学術会議地球化学宇宙化学研究連絡委員会委員
半田暢彦	日本学術会議海洋物理学研究連絡委員会委員
半田暢彦	日本学術会議海洋科学研究連絡委員会委員
半田暢彦	日本学術会議 IGBP 専門委員会委員
半田暢彦	日本科学術会議 IGBP 専門員会 JGOFS 小委員会委員長
半田暢彦	環境庁地球環境研究等企画委員会研究地球環境モニタリング分科会委員
半田暢彦	科学技術庁振興調整費「炭素循環マッピング」評価委員長
半田暢彦	海洋科学技術センター「物質循環」委員会委員長
半田暢彦	愛知県企画部近未来研究会議長
半田暢彦	財団法人科学技術交流財団評議委員
半田暢彦	長久手町環境基本計画審議会会長
小栗宏次	日本国際博覧会企画調整委員
小栗宏次	愛知県教育情報通信ネットワーク運営協議会副議長
小栗宏次	愛知県高度情報化推進会議委員
小栗宏次	通産省高度情報社会検討委員会委員
堀場勇夫	文部省 学術フロンティア推進事業 名城大学 研究プロジェクト「量子情報論から生命への接近」メンバー
渡邊教博	日本学術振興プロセスシステム工学第 143 委員会委員
永井昌寛	愛知県歯科医師会 8020IC カード検討委員会メンバー
村上和人	名古屋市工業研究所, 技術指導, 最近の画像処理技法の課題と展望(10.25)
井手口哲夫	愛知県自治研修所 平成 11 年度政策研究セミナー 指導教官
今里哲久	日本学術会議海洋物理学研究連絡委員会委員
畑雅恭	郵政省電気通信技術審議会スペクトラム利用専門部会委員
畑雅恭	理化学研究所フロンティア研究システム地震国際フロンティア研究非常勤研究員
畑雅恭	東海インターネット協議会理事
畑雅恭	東海情報通信懇談会幹事
畑雅恭	(財)科学技術交流財団メディアフォーラム幹事
奥田隆史	工学情報ネット網構築研究会メンバー
奥田隆史	東海インターネットワーク協議会理事(ビジネス担当)

氏 名	委 員 名
何立風	財団法人人工知能研究振興財団 「地域情報基盤システムに関する研究会」 メンバー
Si Si	愛知県科学技術、交流財団研究会（斎藤公明座長）「確率情報による非線形現象の解析研究会」メンバー
鈴木康弘	総理府地震調査研究推進本部専門委員
鈴木康弘	通産省工業技術院地質調査所非常勤職員
鈴木康弘	名古屋産業科学研究所非常勤研究員
鈴木康弘	愛知県活断層調査委員会委員
鈴木康弘	三重県活断層調査委員会委員
鈴木康弘	名古屋市断層調査委員会委員
鈴木康弘	愛知県史編纂委員会自然史部会専門委員
鈴木康弘	名古屋市史編纂委員会自然史部会専門委員
鈴木康弘	設計用入力地震動作成検討部会委員（財）愛知県建築住宅センター）
木村圭司	愛知県史編纂委員会自然史部会特別調査委員
鈴木賢治	文部省 学術フロンティア推進事業 研究プロジェクト「量子情報論からの生命への接近」（代表：名城大学 飛田武幸教授）プロジェクトメンバー

7.5 海外渡航

氏名	日程	国名	渡航理由
小栗宏次	8月22日～ (2000年8月21日)	ドイツ連邦共和国	在外研究
辻孝吉	5月29日～6月4日	アメリカ合衆国	国際会議 IEEE ISCAS'99 に出席し、論文発表
成瀬正	7月26日～8月8日	スウェーデン	RoboCup 小型リーグ部門参加
丸田辰哉	5月14日～19日	中国	Third Shanghai Conference on Designs Codes and Geometries (上海交通大学)にて研究発表
村上和人	5月17日～23日	カナダ	QCAV'99 発表
村上和人	7月26日～8月8日	スウェーデン	RoboCup'99 出場
山村毅	7月17日～24日	アメリカ合衆国	AAAI 99 にて研究発表
田学軍	7月3日～11日	アメリカ合衆国	国際会議 FUSION'99 (The 2nd International Conference on Information Fusion)での論文発表
井手口哲夫	8月28日～9月5日	モンゴル	電子情報通信学会 / モンゴル技術大学共催の第3回アジア太平洋情報通信シンポジウムでの研究発表
畑雅恭	3月23日～27日	台湾	PIERS1999 論文発表
畑雅恭	7月20日～8月4日	英国	国際測地・地球物理連合総会 (IUGG99) 出席と論文発表
畑雅恭	10月27日～11月7日	トルコ ギリシャ	トルコ・イスタンブールで電磁環境の調査と、アテネで自然災害対策研究会議で論文発表
安川博	12月7日～12日	タイ	The IEEE 1999 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems 参加のため
横田幸雄	1月15日～2月21日	イタリア	国際海洋センター科学委員会出席およびイタリア学術会議発生生物学研究所との共同研究
横田幸雄	7月1日～9日	イタリア	国際海洋センター科学委員会および理事会出席, イタリア学術会議発生生物学研究所との研究打ち合わせ
足立整治	3月11日～23日	オーストリア ドイツ	Universitat fur Musik und darsellende Kunst での講演、及び、Forum Acusticum 99 での論文発表
足立整治	6月14日～20日	ノルウェー	Diffpack training course 参加
奥田隆史	7月3日～16日	アメリカ合衆国	国際会議 FUSION'99(The 2nd International Conference on Information Fusion)で論文発表およびシリコンバレーにおける情報産業育成プログラムの調査
奥田隆史	7月20日～8月7日	アメリカ合衆国	国際会議 SCI'99/ISAS'99 (The 3rd. World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics and ISAS'99 The 5th. Int'l Conference on Information Systems Analysis and Synthesis)で論文発表するとともに座長を務めるため

氏名	日程	国名	渡航理由
何立風	5月30日~6月13日	イタリア	Third International ICSC Symposium on Soft Computing および IEEE International Conference on Multimedia Computing System and Systems'99 にて研究発表
Si Si	7月3日~8日	フランス	発表(招待)
Si Si	7月9日~24	イタリア	招待講演 と共同研究
Si Si	8月9日~9月12日	ミャンマー	共同研究
鈴木康弘	4月28日~5月7日	韓国	日韓合同活断層調査
鈴木康弘	7月19日~30日	サハリン	日露共同活断層調査
鈴木康弘	10月15日~23日	台湾	台湾地震緊急調査
鈴木康弘	11月22日~25日	台湾	活断層調査
木村圭司	7月27日~9月2日	ロシア・サハ共和国	気候観測
木村圭司	12月10日~19日	アメリカ合衆国	学会発表
鈴木賢治	8月20日~29日	アメリカ合衆国	IEEE International Workshop on Neural Networks for Signal Processing で研究発表

7.6 平成 11 年度非常勤講師

氏名	学校名	担当科目
櫻井桂一	愛知県立看護大学	情報科学
渡邊教博	中部大学	化学システム
渡邊教博	名古屋工業大学大学院	計測システム工学特別講義
永井昌寛	愛知学院大学	情報通信入門
丸田辰哉	名城大学	情報数学 I
丸田辰哉	名城大学大学院	代数的組合せ論特論
村上和人	豊田工業高等専門学校	画像処理工学 B
村上和人	愛知学泉大学	コンピュータ A1
山本晋一郎	名古屋大学	計算機アーキテクチャ
山本晋一郎	日本電装工業技術短期大学校	ソフトウェア工学
山本晋一郎	四日市大学	情報システム論
井手口哲夫	名古屋商科大学	ハードウェアの基礎
井手口哲夫	名古屋商科大学	ソフトウェアの基礎
横田幸雄	名古屋大学	生物学基礎
太田淳	岐阜大学	オートマトン理論
奥田隆史	愛知教育大学	コンピュータ応用システム
奥田隆史	名古屋商科大学	コンピュータと経営モデル
奥田隆史	名古屋商科大学	コンピュータと情報通信
何立風	名古屋工業大学	情報処理
鈴木康弘	名古屋大学大学院	土木地質学特論
鈴木康弘	名古屋大学	土木地質学
戸田尚宏	豊橋技術科学大学	知識情報数学

8 研究助成

8.1 愛知県立大学学長特別研究費

氏名	助成者，研究題目，等
小栗宏次，他	愛知県立大学学長特別研究，多地点遠隔教育支援情報システムに関する実験研究
安川博，他	愛知県立大学学長特別研究，分散ネットワークにおける並列又は協調形大規模計算システムの研究

8.2 文部省科学研究費補助金

氏名	研究種目	研究題目	分担
半田暢彦	基盤研究C	長鎖アルケノン水温を指標とした中国西部砂漠域の気候変動の研究	研究代表者
半田暢彦	地域連携推進研究	20世紀後半の自然環境変遷と地理的特性評価に基づく将来予測技術の開発 - GISによる「里山の緑」のシミュレーション -	研究代表者
辻孝吉	基盤研究C	自律分散型ネットモデルによる大規模情報処理システムの系統的解析、設計に関する研究	
神山斉己	基盤研究C	イオン電流と細胞内カルシウム機構に基づく網膜神経細胞の数理モデル	分担
神山斉己	特定領域研究A	数理モデルによる視覚神経系の再構成	分担
村上和人	基盤研究C	人の視覚行動分析と顔の感性情報抽出・生成に関する研究	分担
山本晋一郎	特定領域研究A	関数依存グラフを用いたプログラム分類と再利用環境に関する研究	研究代表者
山本晋一郎	基盤研究B	ソフトウェア発展方式の研究	分担
畑雅恭	基盤研究A	地殻放射電磁波の音響学的信号処理による地殻異常診断に関する研究	研究代表者
何立風	奨励研究A	柔軟なマルチエージェント協調システムの構築	
鈴木康弘	基盤研究B	内陸活断層の詳細判読に基づく断層パラメータデータベースの構築	分担
鈴木康弘	地域連携推進研究	20世紀後半の自然環境変遷と地理的特性評価に基づく将来予測技術の開発 - GISによる「里山の緑」のシミュレーション -	分担
戸田尚宏	基盤研究C	心臓血管系モデルによる指尖加速度脈波上における加齢の再現	研究代表者
木村圭司	地域連携推進研究	20世紀後半の自然環境変遷と地理的特性評価に基づく将来予測技術の開発 - GISによる「里山の緑」のシミュレーション -	分担
小濱剛	奨励研究A	固視微動の工学的解析に基づく視覚的注意の客観的測定	
鈴木賢治	奨励研究A	専門医の非記号系知識を獲得する自律学習成長型医用画像診断システムに関する研究	

8.3 奨学寄付金

氏名	寄附者，研究題目，等
半田暢彦， 小栗宏次	西日本電信電話株式会社，マルチメディアを用いた遠隔医療・福祉、遠隔教育等地域情報化に関する研究
堀場勇夫， 鈴木賢治	名古屋電機工業株式会社，道路交通の計測に関する基礎研究
堀場勇夫， 鈴木賢治	名古屋電機工業株式会社，高密度基板実装に関する基礎研究
堀場勇夫	菱栄エンジニアリング株式会社，内燃機関の内部欠陥検出に関する基礎研究
堀場勇夫	(株)日立メディコ，平成11年度前期奨学寄付金，知的医療画像診断システムの要素技術に関する基礎的研究
堀場勇夫	(株)日立メディコ，平成11年度後期奨学寄付金，知的医療画像診断システムの要素技術に関する基礎的研究
井手口哲夫	三菱電機株式会社，マルチメディアネットワーク技術に関する研究
奥田隆史	三菱電機株式会社情報技術総合研究所，タイムクリティカル通信技術に関する研究
小濱剛	堀情報科学振興財団，視覚的注意を考慮した固視微動モデルの構築とそのダイナミクスの解析

8.4 受託研究

氏名	研究依頼元，研究題目，等
神山斉己	科学技術庁科学技術振興調整費，網膜神経回路の数理モデルに関する研究
畑雅恭	通産省NEDO地域コンソーシアム研究開発事業，(財)中部科学技術センター「デジタル情報系における高性能誤り訂正技術の半導体化に関する研究開発」(研究代表者)

(研究助成の金額は，情報科学部事務室にて公開されております)